

# 資 料 目 次

- 資料1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程 2017年度～2021年度の  
志願者数・入学者数
- 資料2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程 2018年度～2020年度の  
修了者の就職状況
- 資料3 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程 2018年度～2021年度の  
就職先
- 資料4 アンケート結果（医学部医学科生対象）
- 資料5 アンケート結果（医歯科学専攻（修士課程）学生対象）
- 資料6 アンケート結果（医学部医学科卒業生対象）
- 資料7 アンケート結果（医・病院等施設対象）
- 資料8 アンケート様式（医学部医学科生対象、医歯科学専攻（修士課程）学生対  
象、医・対象病院等施設対象、医学部医学科卒業生対象）
- 資料9 アンケート結果（歯学部歯学科生対象）
- 資料10 アンケート結果（歯学部歯学科卒業生対象）
- 資料11 アンケート結果（歯・病院等施設対象）
- 資料12 アンケート様式（歯学部歯学科生対象、歯学部歯学科卒業生対象、歯・病  
院等施設対象）
- 資料13 アンケート結果（薬学部薬学科・博士課程（薬学系）在学生及び薬学部薬  
学科卒業生対象）
- 資料14 アンケート結果（薬・病院・薬局対象）
- 資料15 アンケート結果（薬・企業対象）
- 資料16 アンケート様式（薬学部薬学科・博士課程（薬学系）在学生及び薬学部薬  
学科卒業生対象、薬・病院・薬局対象、薬・企業対象）

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程 2017年度～2021年度の志願者数・入学者数

[ ]は外国人留学生, ( )は女子で内数

4月入学

研究科	専攻・分野	入学定員 (系定員)	系	2017年4月		2018年4月		2019年4月		2020年4月		2021年4月		
				志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	
医歯薬学総合研究科 博士課程	生体制御科学専攻	25	医学系	(5) 30	(5) 30	[4] (6) 32	[3] (5) 31	[3] (4) 27	[3] (4) 27	[3] (3) 22	[2] (3) 21	[2] (1) 17	[2] (1) 17	
			歯学系					[1] 1	[1] 1			[1] 1	[1] 1	
			薬学系			(1) 1	(1) 1			(1) 1	(1) 1			(1) 1
			計	(5) 30	(5) 30	[4] (7) 33	[3] (6) 32	[4] (4) 28	[4] (4) 28	[3] (4) 23	[2] (4) 22	[3] (1) 19	[3] (1) 19	
	病態制御科学専攻	62	医学系	[3] (15) 52	[2] (14) 49	[1] (17) 56	[1] (17) 55	[2] (14) 51	[1] (13) 50	[2] (11) 46	[2] (11) 46	(7) 42	(7) 42	
			歯学系	[3] (4) 13	[3] (4) 13	[2] (3) 7	[2] (3) 7	(2) 4	(2) 4	[1] (7) 12	[1] (7) 12	[2] (4) 5	[2] (4) 5	
			薬学系											
			計	[6] (19) 65	[5] (18) 62	[3] (20) 63	[3] (20) 62	[2] (16) 55	[1] (15) 54	[3] (18) 58	[3] (18) 58	[2] (11) 48	[2] (11) 48	
	機能再生・再建科学専攻	28	医学系	(2) 10	(2) 10	11	10	8	8	(1) 4	3	(1) 11	(1) 11	
			歯学系	[1] (6) 18	[1] (6) 16	[2] (10) 16	[2] (10) 16	[1] (8) 14	[1] (7) 12	[2] (8) 23	[2] (8) 23	[4] (7) 13	[4] (7) 13	
			薬学系											
			計	[1] (8) 28	[1] (8) 26	[2] (10) 27	[2] (10) 26	[1] (8) 22	(7) 20	[2] (9) 27	[2] (8) 26	[4] (8) 24	[4] (8) 24	
	社会環境生命科学専攻	13	医学系	(6) 13	(6) 12	[1] (4) 9	[1] (4) 9	(2) 9	(1) 7	[1] (2) 9	[1] (2) 9	(5) 11	(5) 11	
			歯学系	[1] (2) 3	[1] (2) 3	(4) 7	(4) 6	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3		1	
			薬学系					(1) 1	(1) 1					
			計	[1] (8) 16	[1] (8) 15	[1] (8) 16	[1] (8) 15	(4) 13	(3) 11	[1] (3) 12	[1] (3) 12	[1] (5) 14	[1] (5) 13	
計	(90)		医学系	[3] (28) 105	[2] (27) 101	[6] (27) 108	[5] (26) 105	[5] (20) 95	[4] (18) 92	[6] (17) 81	[5] (16) 79	[3] (14) 81		
計	(32)		歯学系	[5] (12) 34	[5] (12) 32	[4] (17) 30	[4] (17) 29	[2] (11) 22	[1] (10) 20	[3] (16) 38	[3] (16) 38	[7] (11) 21	[7] (11) 20	
計	(6)		薬学系	0	0	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	3	3	
合計	128	医歯薬	[8] (40) 139	[7] (39) 133	[10] (45) 139	[9] (44) 135	[7] (32) 118	[5] (29) 113	[9] (34) 120	[8] (33) 118	[10] (25) 105	[10] (25) 104		

※入学定員は4月と10月と合わせての人数

10月入学

[ ]は外国人留学生, ( )は女子で内数

研究科	専攻・分野	入学定員 (系定員)	入学定員	2017年10月		2018年10月		2019年10月		2020年10月		2021年10月		
				志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	
医歯薬学総合研究科 博士課程	生体制御科学専攻	25	医学系	[3] (2) 3	[3] (2) 3	[4] (2) 4	[2] 2	[7] (4) 7	[7] (4) 7	[8] (6) 9	[7] (6) 8	[3] (3) 5	[3] (3) 5	
			歯学系							[1] (1) 1				
			薬学系			1	1							
			計	[3] (2) 3	[3] (2) 3	[4] (2) 5	[2] 3	[7] (4) 7	[7] (4) 7	[9] (7) 10	[7] (6) 8	[3] (3) 5	[3] (3) 5	
	病態制御科学専攻	62	医学系	[6] (6) 6	[5] (5) 5	[6] (4) 7	[5] (3) 6	[6] (5) 7	[5] (5) 6	[5] (6) 12	[4] (5) 11	[6] (5) 7	[6] (5) 7	
			歯学系	[1] (1) 1	[1] (1) 1	[3] (2) 3	[2] (2) 2	[1] 1	[1] 1	[1] (1) 2	[1] (1) 2	[1] (1) 1	[1] (1) 1	
			薬学系			1	1					[1] (1) 1	[1] (1) 1	
			計	[7] (7) 7	[6] (6) 6	[9] (6) 11	[7] (5) 9	[7] (5) 8	[6] (5) 7	[6] (7) 14	[5] (6) 13	[8] (7) 9	[8] (7) 9	
	機能再生・再建科学専攻	28	医学系			[1] 1	[1] 1	[3] (2) 3	[3] (2) 3			[1] (1) 4		3
			歯学系	[3] (3) 3	[2] (2) 2			[3] (3) 3	[3] (3) 3	[5] (3) 5	[4] (3) 4	[1] (1) 1	[1] (1) 1	
			薬学系											
			計	[3] (3) 3	[2] (2) 2	[1] 1	[1] 1	[6] (5) 6	[6] (5) 6	[5] (3) 5	[4] (3) 4	[2] (1) 5	[1] (1) 4	
	社会環境生命科学専攻	13	医学系	[2] 2	[1] 1						(1) 1	(1) 1	(1) 3	(1) 3
			歯学系					[1] (2) 2	[1] (2) 2	[1] 1				
			薬学系											
			計	[2] 2	[1] 1			[1] (2) 3	[1] (2) 3	[1] (1) 2	(1) 1	(1) 3	(1) 3	
計	(90)		医学系	[11] (8) 11	[9] (7) 9	[11] (6) 12	[8] (3) 9	[16] (11) 17	[15] (11) 16	[13] (13) 22	[11] (12) 20	[10] (10) 19	[9] (9) 18	
計	(32)		歯学系	[4] (4) 4	[3] (3) 3	[3] (2) 3	[2] (2) 2	[5] (5) 6	[5] (5) 6	[8] (5) 9	[5] (4) 6	[2] (1) 2	[2] (1) 2	
計	(6)		薬学系	0	0	2	2	1	1	0	0	[1] (1) 1	[1] (1) 1	
合計	128	医歯薬	[15] (12) 15	[12] (10) 12	[14] (8) 17	[10] (5) 13	[21] (16) 24	[20] (16) 23	[21] (18) 31	[16] (16) 26	[13] (12) 22	[12] (11) 21		

※入学定員は4月と10月と合わせての人数

〔 〕は外国人留学生, ( )は女子で内数

## 4・10月入学

研究科	専攻・分野	入学定員 (系定員)	入学定員	2017年4・10月		2018年4・10月		2019年4・10月		2020年4・10月		2021年4・10月		
				志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	
医歯薬学総合研究科 博士課程	生体制御科学専攻	25	医学系	〔3〕 (7) 33	〔3〕 (7) 33	〔8〕 (8) 36	〔5〕 (5) 33	〔10〕 (8) 34	〔10〕 (8) 34	〔11〕 (9) 31	〔9〕 (9) 29	〔5〕 (4) 22	〔5〕 (4) 22	
			歯学系					〔1〕 (1) 1	〔1〕 (1) 1	〔1〕 (1) 1		〔1〕 (1) 1	〔1〕 (1) 1	
			薬学系			(1) 2	(1) 2			(1) 1	(1) 1			
			計	〔3〕 (7) 33	〔3〕 (7) 33	〔8〕 (9) 38	〔5〕 (6) 35	〔11〕 (8) 35	〔11〕 (8) 35	〔12〕 (11) 33	〔9〕 (10) 30	〔6〕 (4) 24	〔6〕 (4) 24	
	病態制御科学専攻	62	医学系	〔9〕 (21) 58	〔7〕 (19) 54	〔7〕 (21) 63	〔6〕 (20) 61	〔8〕 (19) 58	〔6〕 (18) 56	〔7〕 (17) 58	〔6〕 (16) 57	〔6〕 (12) 49	〔6〕 (12) 49	
			歯学系	〔4〕 (5) 14	〔4〕 (5) 14	〔5〕 (5) 10	〔4〕 (5) 9	〔1〕 (2) 5	〔1〕 (2) 5	〔2〕 (8) 14	〔2〕 (8) 14	〔3〕 (5) 6	〔3〕 (5) 6	
			薬学系									(1) (1) 2	(1) (1) 2	
			計	〔13〕 (26) 72	〔11〕 (24) 68	〔12〕 (26) 74	〔10〕 (25) 71	〔9〕 (21) 63	〔7〕 (20) 61	〔9〕 (25) 72	〔8〕 (24) 71	〔10〕 (18) 57	〔10〕 (18) 57	
	機能再生・再建科学専攻	28	医学系	(2) 10	(2) 10	〔1〕 12	〔1〕 11	〔3〕 (2) 11	〔3〕 (2) 11	(1) 4		〔1〕 15	(1) 14	
			歯学系	〔4〕 (9) 21	〔3〕 (8) 18	〔2〕 (10) 16	〔2〕 (10) 16	〔4〕 (11) 17	〔3〕 (10) 15	〔7〕 (11) 28	〔6〕 (11) 27	〔5〕 (7) 14	〔5〕 (7) 14	
			薬学系											
			計	〔4〕 (11) 31	〔3〕 (10) 28	〔3〕 (10) 28	〔3〕 (10) 27	〔7〕 (13) 28	〔6〕 (12) 26	〔7〕 (12) 32	〔6〕 (11) 30	〔6〕 (9) 29	〔5〕 (8) 28	
	社会環境生命科学専攻	13	医学系	〔2〕 (6) 15	〔1〕 (6) 13	〔1〕 (4) 9	〔1〕 (4) 9	(2) 9	(1) 7	〔1〕 (3) 10	〔1〕 (3) 10	〔1〕 (6) 14	〔1〕 (6) 14	
			歯学系	〔1〕 (2) 3	〔1〕 (2) 3	(4) 7	(4) 6	〔1〕 (3) 5	〔1〕 (3) 5	〔1〕 (1) 4	(1) 3			
			薬学系					(1) 2	(1) 2					
			計	〔3〕 (8) 18	〔2〕 (8) 16	〔1〕 (8) 16	〔1〕 (8) 15	〔1〕 (6) 16	〔1〕 (5) 14	〔2〕 (4) 14	〔1〕 (4) 13	〔1〕 (6) 17	〔1〕 (6) 16	
計	(90)	医学系	〔14〕 (36) 116	〔11〕 (34) 110	〔17〕 (33) 120	〔13〕 (29) 114	〔21〕 (31) 112	〔19〕 (29) 108	〔19〕 (28) 99	〔16〕 (24) 100	〔13〕 (23) 99			
計	(32)	歯学系	〔9〕 (16) 38	〔8〕 (15) 35	〔7〕 (19) 33	〔6〕 (19) 31	〔7〕 (16) 28	〔6〕 (15) 26	〔11〕 (21) 47	〔8〕 (20) 44	〔9〕 (12) 23	〔9〕 (12) 22		
計	(6)	薬学系			(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 4	(1) 4		
合計	128	医歯薬	〔23〕 (52) 154	〔19〕 (49) 145	〔24〕 (53) 156	〔19〕 (49) 148	〔28〕 (48) 142	〔25〕 (45) 136	〔30〕 (52) 151	〔24〕 (49) 144	〔23〕 (37) 127	〔22〕 (36) 125		

※入学定員は4月と10月と合わせての人数

## 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程 2018年度～2020年度の修了者の就職状況

修了年度	専攻		修了者数	就職希望者数					その他・不明	満期退学者数 (外数)	就職希望者数					その他・不明
				進学希望者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職未決定者数			進学希望者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職未決定者数	
2018	生体制御科学専攻	医学系	26			24	24		2							
		歯学系														
		薬学系														
	計	26	0	0	24	24	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	病態制御科学専攻	医学系	54			52	52		2	1						1
		歯学系	12			12	12									
		薬学系	1			1	1									
	計	67	0	0	65	65	0	2	1	0	0	0	0	0	1	
	機能再生・再建科学専攻	医学系	22			21	21		1							
		歯学系	15			15	15									
		薬学系														
	計	37	0	0	36	36	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	社会環境生命科学専攻	医学系	7			7	7			1			1	1		
		歯学系	9			9	9									
		薬学系														
	計	16	0	0	16	16	0	0	1	0	0	1	1	0	0	
計		146	0	0	141	141	0	5	2	0	0	1	1	0	1	
10月入学者 (内数)	生体制御科学専攻	医学系	3			2	2		1							
		歯学系														
		薬学系														
	計	3	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	病態制御科学専攻	医学系	4			2	2		2	1						1
		歯学系														
		薬学系														
	計	4	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	
	機能再生・再建科学専攻	医学系	2			1	1		1							
		歯学系														
		薬学系														
	計	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	社会環境生命科学専攻	医学系														
		歯学系														
		薬学系														
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		9	0	0	5	5	0	4	1	0	0	0	0	0	1	
2019	生体制御科学専攻	医学系	29			28	28		1	1			1	1		
		歯学系														
		薬学系	1			1	1									
	計	30	0	0	29	29	0	1	1	0	0	1	1	0	0	
	病態制御科学専攻	医学系	49			46	46		3							
		歯学系	11			11	11									
		薬学系	1			1	1									
	計	61	0	0	58	58	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
	機能再生・再建科学専攻	医学系	10			10	10									
		歯学系	18			17	17									
		薬学系														
	計	28	0	0	27	27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	社会環境生命科学専攻	医学系	12			11	11		1							
		歯学系	5			5	5									
		薬学系														
	計	17	0	0	16	16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
計		136	0	0	130	130	0	6	1	0	0	1	1	0	0	
10月入学者 (内数)	生体制御科学専攻	医学系	1			1	1									
		歯学系														
		薬学系														
	計	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	病態制御科学専攻	医学系	1						1							
		歯学系	1			1	1									
		薬学系														
	計	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	機能再生・再建科学専攻	医学系														
		歯学系														
		薬学系														
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	社会環境生命科学専攻	医学系														
		歯学系														
		薬学系														
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		3	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
2020	生体制御科学専攻	医学系	26			26	26									
		歯学系														
		薬学系														
	計	26	0	0	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	病態制御科学専攻	医学系	51	1	1	47	47		3							
		歯学系	12			11	11		1							
		薬学系								1			1	1		
	計	63	1	1	58	58	0	4	1	0	0	1	1	0	0	
	機能再生・再建科学専攻	医学系	15			15	15									
		歯学系	17			17	17									
		薬学系														
	計	32	0	0	32	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	社会環境生命科学専攻	医学系	6			6	6									
		歯学系	4			1	1		3							
		薬学系														
	計	10	0	0	7	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
計		131	1	1	123	123	0	7	1	0	0	1	1	0	0	
10月入学者 (内数)	生体制御科学専攻	医学系														
		歯学系														
		薬学系														
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	病態制御科学専攻	医学系														
		歯学系	1			1	1									
		薬学系														
	計	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	機能再生・再建科学専攻	医学系														
		歯学系	1			1	1									
		薬学系														
	計	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	社会環境生命科学専攻	医学系														
		歯学系														
		薬学系														
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注) 10月入学者は内数  
満期退学者は外数

## 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程 2018年度～2021年度の就職先

生体制御科学専攻	2018	2019	2020	総計
研究者	2	3	1	6
教員	3	2		
医師, 歯科医師, 獣医師, 薬剤師	18	22	19	59
医療技術者			3	3
その他保健医療従事者		1		
その他専門的・技術的職業従事者				
総計	23	28	23	74
病態制御科学専攻	2018	2019	2020	総計
研究者	3		4	7
教員	7	3		
医師, 歯科医師, 獣医師, 薬剤師	46	47	44	137
その他専門的・技術的職業従事者	3	1		
事務従事者			1	1
その他		1	1	2
総計	59	52	50	161
機能再生・再建科学専攻	2018	2019	2020	総計
教員	7	2		9
情報処理・通信技術者	1			
医師, 歯科医師, 獣医師, 薬剤師	25	25	25	75
医療技術者			1	1
その他専門的・技術的職業従事者	2		2	4
その他			1	1
総計	35	27	29	91
社会環境生命科学専攻	2018	2019	2020	総計
研究者	1			1
教員	4	3		3
医師, 歯科医師, 獣医師, 薬剤師	9	8	5	22
その他専門的・技術的職業従事者	2	1	1	4
事務従事者			1	1
総計	16	12	7	35
全専攻合計	133	119	109	361

※学校基本調査を基に作成（単位修得満期退学者を含む。臨時労働者、フルタイムでない者を除く。）

## 医学科生・進路アンケート

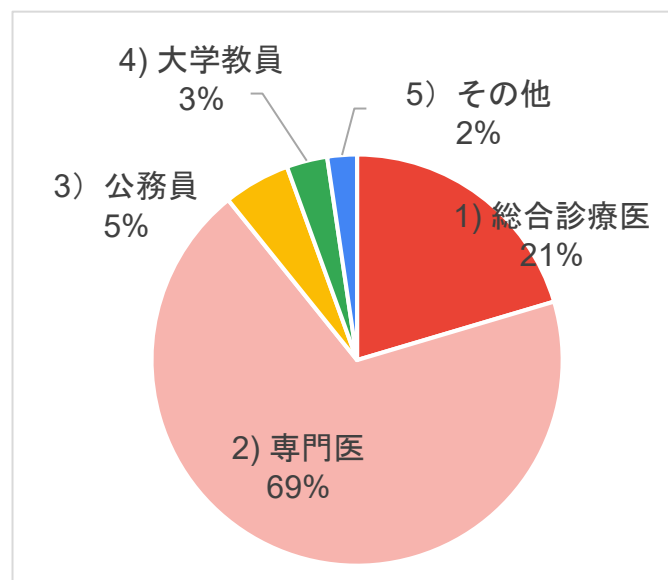
(アンケート対象者数372名 回答者268名 回答率72.0%)

1. 学年を教えてください。

4年生	5年生	6年生	計
102	94	72	268

2. 現時点で想定している将来の職種を教えてください。(複数回答可)

1) 総合診療医	70
2) 専門医	236
3) 公務員 (厚労省、自治体の医系技官など)	18
4) 大学教員	11
5) その他 (研究医、会社員、弁護士、海外で働く等)	8



上記で「2) 専門医」と答えた方で、具体的な種類が決まっていたら、教えてください。

内科系	79
(内科・総合内科32、消化器内科13、呼吸器内科4、神経内科5、血液内科5、糖尿病内科2、腎臓内科2、内分泌4、感染症内科3、循環器内科9)	
外科系	56
(外科23、消化器外科3、乳腺外科1、脳神経外科8、整形外科15、心臓血管外科2、形成外科4)	
小児科	24
救急科	10
麻酔・集中治療	16
精神科神経科	10
産婦人科	14
泌尿器科	6
耳鼻咽喉科	3
眼科	2
放射線科	6
病理診断科	2
膠原病リウマチ	2
皮膚科、リハビリ、美容整形、腫瘍、社会医学専門医 (各1)	5

3 岡山大学医学部医学科に在籍していた当時、医歯薬学総合研究科 (博士課程) の科目等履修生 (Pre-ART) に登録していましたか？

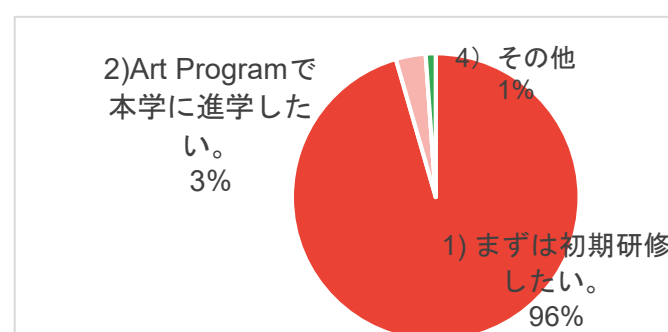
ART programとPre-ARTについて

- ・ ART programとは、「卒後臨床研修」を受けながら、研修1年目から「大学院博士課程」への入学が可能な“学部と大学院をシームレスに連結する”キャリアパスプログラムです。
- ・ Pre-ARTとは、学部学生 (医学部医学科3年生以上) が大学院講義を早期履修できる制度です。

1) 登録していない。	219
2) 登録している。	49

① 医学部医学科卒業後の進路を、どのように考えていますか？

1) まずは初期研修したい。	256
2) ART program で岡山大学大学院医歯薬学専攻 (博士課程) に進学して研修・研究したい。	9
3) 直ちに大学院博士課程に進学して研究に専念したい。	0
4) その他 (1と2で迷っている、未定、海外で研究)	3



②-1 どのような病院で初期研修や専攻医研修（後期研修）をしたいですか？（複数回答可）

1) 岡山大学病院または岡山市民病院(ART program対象病院)	13
2) 岡山県内または中四国地域などの関連病院	186
3) 出身地周辺の病院	104
4) 有名研修病院	46
5) その他（以下）	8

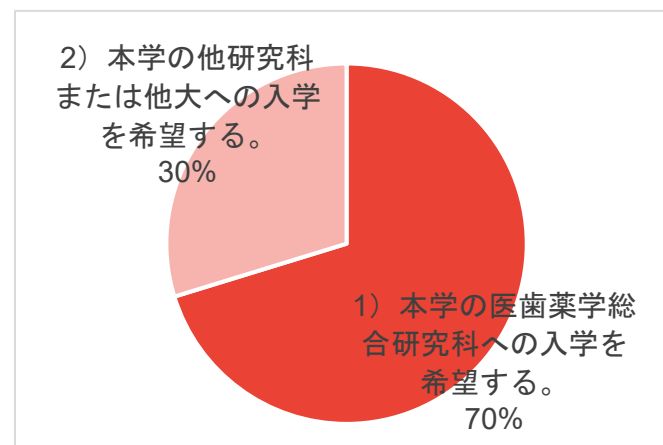
出身地ではない県外の市中病院、福利厚生が良い所、興味のある診療科が強い病院、等

②-2 大学院への入学時期をどのように考えますか？

1) 研修中または研修終了後に入学を希望する。	33
2) 専門医取得後に入学を希望する。	22
3) 必要性を感じたら入学を希望する。	131
4) 大学院への進学は考えていない。	70

②-3 大学院への進学（ART programを含む）をお考えの方は、現在、どの大学院への入学を希望されているか教えてください。

1)本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。	137
2)本学他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。	58



②-4 その大学院への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

1) 研究内容に興味がある	32
2) 同世代と交流するチャンスだから	19
3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから	23
4) 生活上の利便性や経済的な理由から	73
5) 将来のキャリアに有利	108
6) その他（まだわからない、違う環境に身を置きたい）	3

②-4で1) を選んだ方は、興味のある研究テーマを具体的に教えてください。

AIによる画像分析、医療政策、公衆衛生、疫学、予防医療、生育環境と成人気分障害の関連性  
 ブレインマシンインターフェース、移植医療、ショックなどの救急疾患、スポーツ  
 宇宙医学、ゲノム、肺線維症 組織修復、精神神経病態学、分子生物学系  
 小児SLEとその発症メカニズムあるいは性差医療の拠点であるから。

②-5 大学院への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。（複数回答可）

1) 臨床医として働きたい	52
2) 研究に興味がない	34
3) 研究が自分に向いているか、修了できるかが不安	17
4) 博士課程修了後のキャリアに不安がある	5
5) 博士課程に進学するメリットを感じない	15
6) 学費や生活費等の経済的事情から	12
7) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がする	12
8) 大学院進学に対する家族や友人、知人による反対意見	0
9) その他（面倒臭い。）	1

## 医歯科学専攻（修士課程）学生・進路アンケート

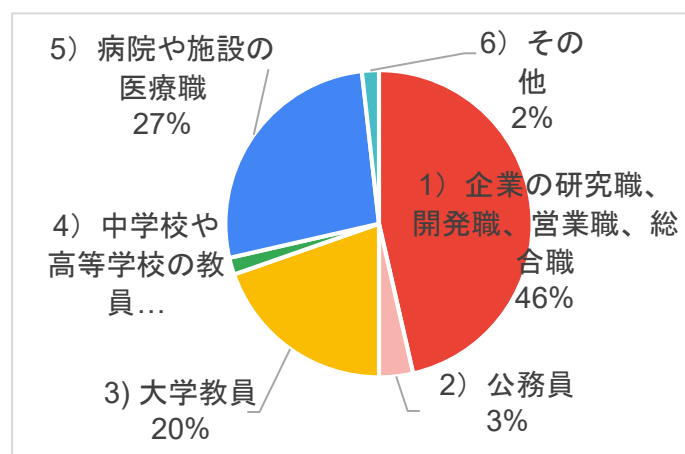
（アンケート対象者数40名 回答者40名 回答率100%）

1. 学年を教えてください。

1年生	2年生	計
15	25	40

2. 現時点で想定している将来の職種を教えてください。（複数回答可）

1) 企業の研究職、開発職、営業職、総合職	26
2) 公務員	2
3) 大学教員	11
4) 中学校や高等学校の教員	1
5) 病院や施設の医療職	15
6) その他（現職）	1



上記で2) と答えた方で、具体的な種類が決まっていたら、教えてください。

回答なし

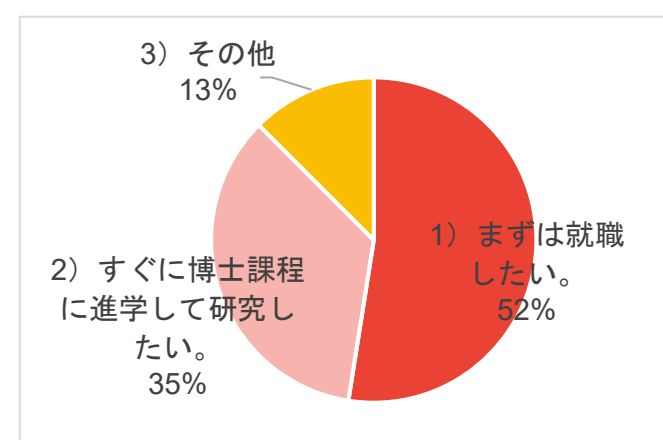
3 博士課程に進学する場合、日本学生支援機構や大本育英会などの奨学金を申請できることを知っていますか？

1) よく知っている。	15
2) よく知らない。	25

① 修士課程修了後の進路をどのように考えていますか？

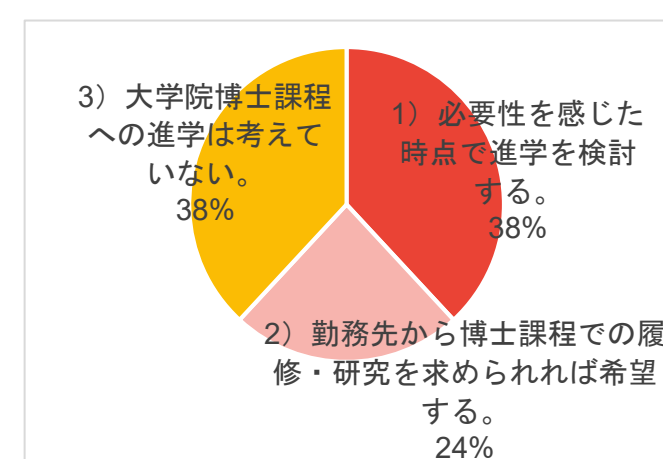
1) 修士課程修了後まずは就職したい。	21
2) 修士課程修了後すぐに博士課程に進学して研究を行いたい。	14
3) その他（以下）	5

未定、他大学を検討中、客員研究員、歯学部編入学を検討中



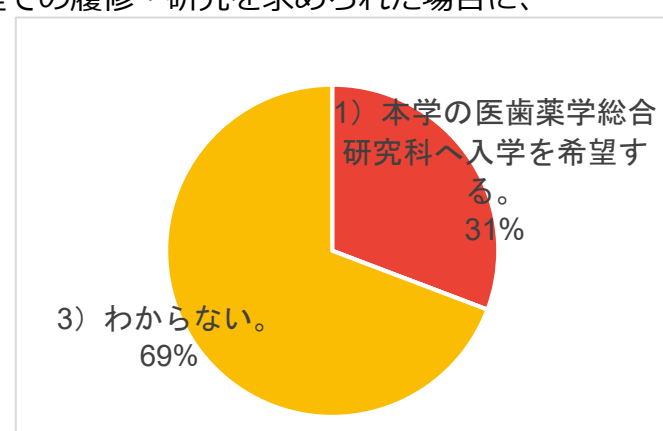
②-1 職を得た後の大学院博士課程への進学をどのように考えますか？

1) 一定の勤務経験を積んだ後、必要性を感じた時点で進学を検討する。	8
2) 勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められれば希望する。	5
3) 大学院博士課程への進学は考えていない。	8



②-2 勤務経験を積んだ後、もしくは、勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められた場合に、どの大学院への入学を検討されるか、教えてください。

1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。	4
2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。	0
3) わからない。	9





②-3 大学院博士課程への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

1) 今の研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある	3
2) 同世代と交流するチャンスだから	0
3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから	4
4) 生活上の利便性や経済的事由から	1
5) 将来のキャリアに有利	8
6) その他	0

上記で1)を選んだ方は、研究テーマを教えてください。

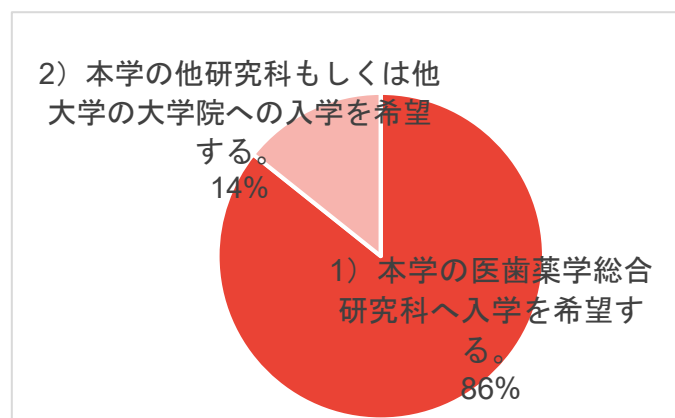
・NAD+代謝酵素を介した軸索変性誘導メカニズムの解析

②-4 大学院博士課程への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。（複数回答可）

1) 研究にこれ以上興味を持ってない	3
2) 研究が自分に向いているのか、修了できるかが不安	4
3) 博士課程修了後のキャリアに不安がある。	4
4) 博士課程に進学するメリットを感じない	1
5) 学費や生活費等の経済的事情から	3
6) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がする。	4
7) 博士課程進学に対する家族や友人、知人による反対意見	0
8) その他（はやく就職したい）	1

③-1 大学院博士課程への進学をお考えの方は、どの大学院への入学を希望していますか？

1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。	12
2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。	2
3) わからない。	0



③-2 その大学院博士課程への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

1) 今の研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある	9
2) 同世代と交流するチャンスだから	3
3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから	6
4) 生活上の利便性や経済的事由から	7
5) 将来のキャリアに有利	11
6) その他（教員が論文投稿に消極的であるため他大を希望）	1

上記で1)を選んだ方は、研究テーマを教えてください。

・ Alzheimer's disease  
 ・ organ on a chip  
 ・ コオロギの脚の再生  
 ・ ヒト多能性幹細胞に由来する腱靭帯組織の作製方法の検討  
 ・ 癌に対する新規免疫療法の確立  
 ・ 循環器系や薬物動態のテーマに興味がある  
 ・ 軟組織接着性制御に向けたハイドロキシアパタイト表面性状の最適化

## 岡大病院初期研修者及び後期研修者：進路アンケート

(アンケート対象者数143名 回答者118名 回答率82.5%)

1. 臨床研修について教えてください。

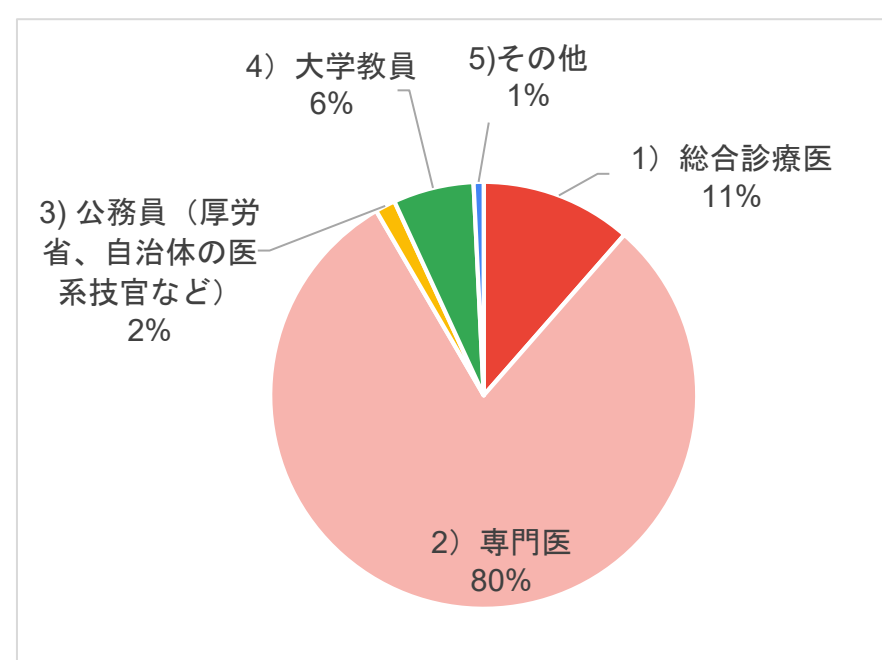
初期研修中	後期研修中	計
57	61	118

2. 現時点で想定している将来の職種を教えてください。(複数回答可)

	初期研修中	後期研修中	計
1) 総合診療医	12	3	15
2) 専門医	46	59	105
3) 公務員(厚労省、自治体の医系技官など)	1	1	2
4) 大学教員	6	2	8
5) その他(開業医)	0	1	1

上記で「専門医」と答えた方は、領域を教えてください。

内科系	17
(内科・総合内科4、消化器内科4、呼吸器内科3、血液内科2、糖尿病内科2、内分泌2)	
外科系	18
(外科6、消化管外科1、消化器外科2、呼吸器外科1、乳腺外科1、整形外科4、形成外科3)	
小児科	9
救急科	5
集中治療	1
麻酔科	6
精神科神経	10
脳神経外科	3
産婦人科	2
泌尿器科	4
耳鼻咽喉科	2
眼科	6
皮膚科	4
放射線科	6
病理診断科	8
リハビリ、栄養、スポーツ	1



3. 医歯薬学総合研究科(博士課程)科目等履修生(Pre-ART)に登録していましたか？

ART programとPre-ARTについて

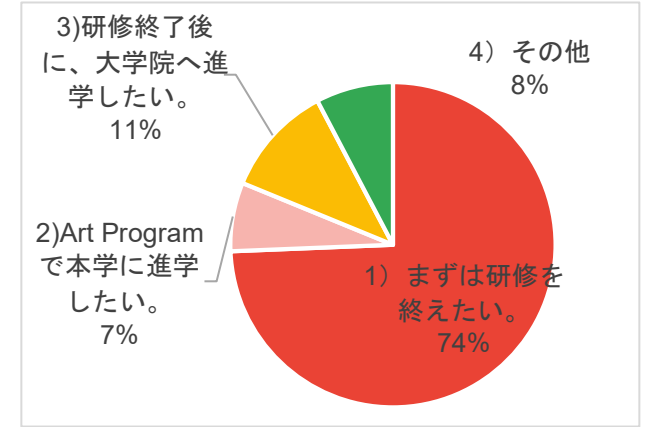
- ・ART programとは、「卒後臨床研修」を受けながら、研修1年目から「大学院博士課程」への入学が可能な“学部と大学院をシームレスに連結する”キャリアパスプログラムです。
- ・Pre-ARTとは、学部学生(医学部医学科3年生以上)が大学院講義を早期履修できる制度です。

	初期研修中	後期研修中	計
1) 登録していた。	13	18	32
2) 登録していなかった。	44	43	87

① 今後の進路を、どのように考えていますか？

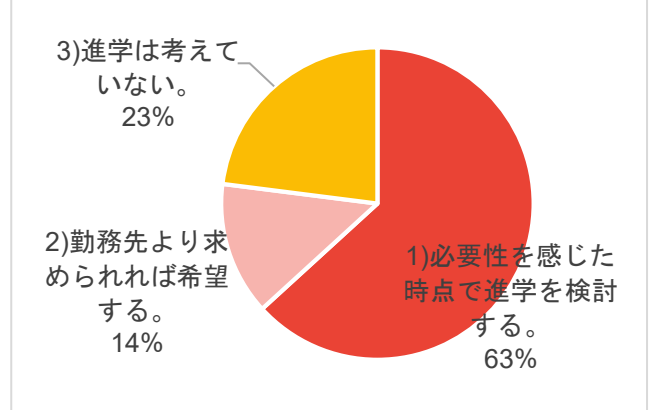
	初期研修中	後期研修中	計
1) まずは研修を終えたい。	45	42	87
2) ART programで本学（岡山大学）大学院医歯薬学専攻（博士課程）に進学して 研修・研究したい。	6	2	8
3) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、臨床と研究を両立したい。	3	10	13
4) その他（以下）	3	6	9

初期研修中・・・現在ART programで研究している  
後期研修中・・・博士課程に進学済み、機会があれば進学も考える、臨床予定がある



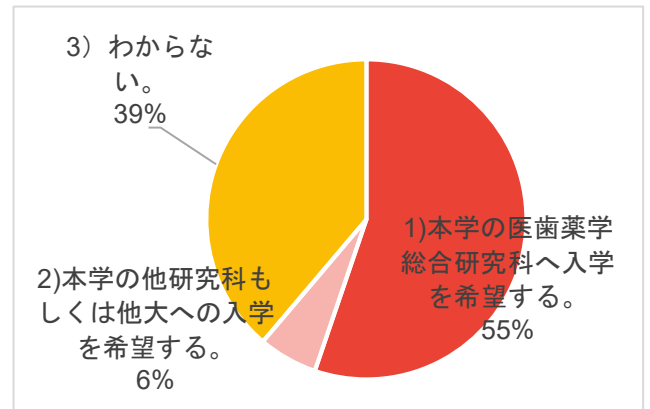
②-1 研修終了後の大学院博士課程への進学をどのように考えますか？

	初期研修中	後期研修中	計
1) 一定の臨床経験を積んだ後、必要性を感じた時点で進学を検討する。	27	28	55
2) 勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められれば希望する。	8	4	12
3) 大学院博士課程への進学は考えていない。	10	10	20



②-2 臨床経験を積んだ後、もしくは、勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められた場合に、どの大学院への入学を検討されるか、教えてください。

	初期研修中	後期研修中	計
1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。	20	17	37
2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。	3	1	4
3) わからない。	12	14	26



②-3 大学院博士課程への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

	初期研修中	後期研修中	計
1) Pre-ARTの研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある	1	2	3
2) 同世代と交流するチャンスだから		4	4
3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから	2	7	9
4) 生活上の利便性や経済的事由から	6	7	13
5) 将来のキャリアに有利だから	25	19	44
6) その他（以下）	3	2	5

初期研修中・・・わからない2、研究内容に興味があれば。なければあまり取るつもりがない。  
後期研修中・・・論文を書く上で必要性を感じるから

上記で「1) Pre-ARTの研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある」と答えた方は、研究テーマを教えてください。

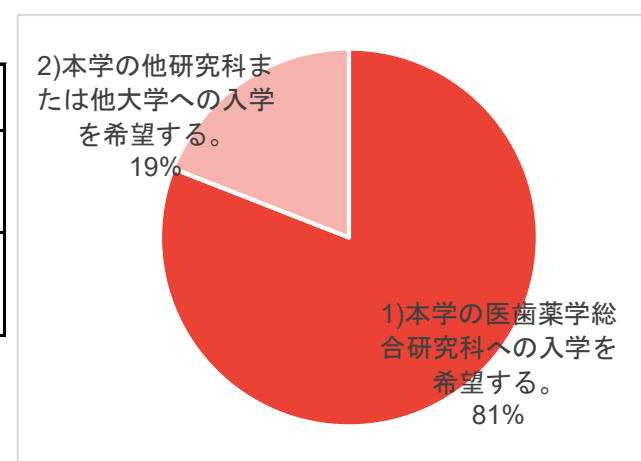
- ・ 精神病・気分障害の診断・治療
- ・ 網膜光干渉断層撮影の研究

②-4 大学院博士課程への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。(複数回答可)

	初期研修中	後期研修中	計
1) 研究に興味がない	8	2	10
2) 研究が自分に向いているのか、修了できるかが不安	3	5	8
3) 博士課程修了後のキャリアに不安がある	1	1	2
4) 博士課程に進学するメリットを感じない	5	4	9
5) 学費や生活費等の経済的事情から	4	1	5
6) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がする	1	4	5
7) 博士課程進学に対する家族や友人、知人による反対意見	0	0	0
8) その他(地域枠の義務年限も残っていて、これから引っ越しや出産も控えているため、大学院へ行くタイミングは現時点ではないと考えるから。)	0	1	1

③-1 大学院博士課程への進学をお考えの方は、どの大学院への入学を希望していますか？

	初期研修中	後期研修中	計
1) 本学(岡山大学)大学院医歯薬学総合研究科(博士課程)への入学を希望する。	7	10	17
2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院(博士課程)への入学を希望する。	2	2	4



③-2 その大学院への進学を考える理由は何ですか？(複数回答可)

	初期研修中	後期研修中	計
1) Pre-ARTの研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある	2	1	3
2) 同世代と交流するチャンスだから	1	1	2
3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから	6	4	10
4) 生活上の利便性や経済的事由から	2	2	4
5) 将来のキャリアに有利	6	7	13
6) その他(配偶者の仕事の関係)	0	1	1

上記で「1) Pre-ARTの研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある」と答えた方は、研究テーマを教えてください。

- ・パーキンソン病
- ・遺伝子治療

## 医・病院等施設向け・出口アンケート

(アンケート対象者数240名 回答者104名 回答率43.3%)

1 病院名をお答えください。(自由記述)

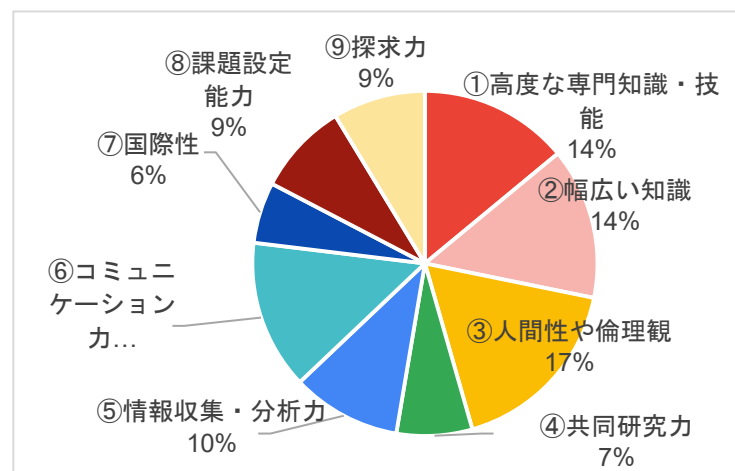
省略

2 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。

①はい	25
②いいえ	68
③わからない	11

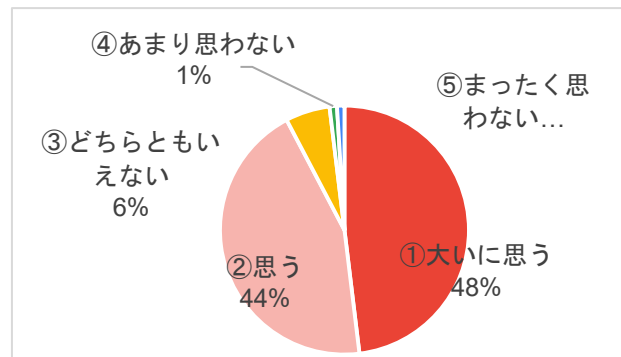
3 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。(複数回答可)

①高度な専門知識・技能	71
②幅広い知識	72
③人間性や倫理観	88
④共同研究力	36
⑤情報収集・分析力	52
⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力	71
⑦国際性	29
⑧長期的・短期的な課題設定能力	44
⑨課題への探求力	44



4 3でお答えいただいた力を身につけた人材が、貴院では必要だと思われますか？

①大いに思う	50
②思う	46
③どちらともいえない	6
④あまり思わない	1
⑤まったく思わない	1



5 貴院での採用に当たり、どの教育課程の修了者に興味がありますか？

### ①医学学位プログラム

難治性疾患の病因解明や治療、健康寿命延伸に焦点をあてた基礎・臨床・社会医学の先進的教育研究を推進する学位プログラム

### ②包括がん研究者・研究医養成サブプログラム

最新のがん研究に関する統合的理解と研究推進能力を兼ね備えた人材を養成する「がん研究者コース」と、高齢者がん医療、がんゲノム医療、希少がん、小児/思春期・若年成人(AYA)世代がんに関する高度で包括的な知識と技術を持ち、チームで連携してがん診療を提供するため、がん患者の求める全人的医療を実践できる卓越したがん専門医療人を、多職種連携教育により養成する「がん研究医コース」を包括するサブプログラム

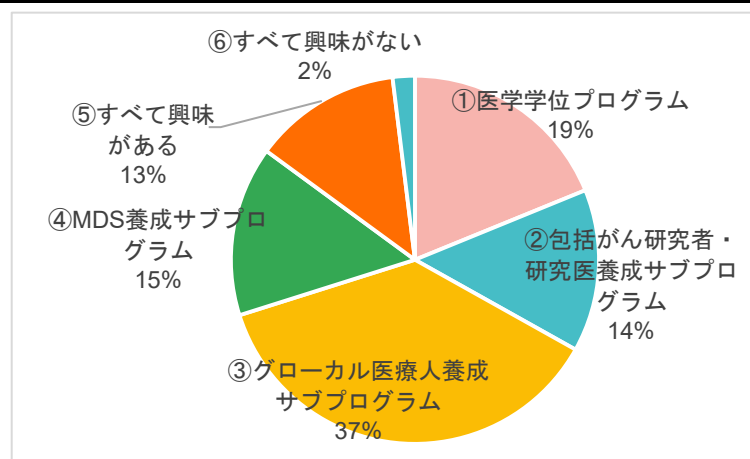
### ③グローバル医療人養成サブプログラム

Localな地域医療ニーズに対して専門性を越えた統合的理解・横断的なアプローチで解決する着眼点・方法論を修得し、Globalな視点で問題解決に取り組む姿勢を醸成させていくための素養を培うことを目的としたサブプログラム






### ④メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS) 養成サブプログラム

保健医療分野における研究デザインとデータ収集・解析により、人間集団が織りなす事象を幅広く教育研究の対象とした「ビッグデータ解析コース」と、収集されたデータからAI技術を応用して価値の創出を目指す「医療AI応用コース」からなるサブプログラム

①医学学位プログラム	29
②包括がん研究者・研究医養成サブプログラム	22
③グローバル医療人養成サブプログラム	57
④MDS養成サブプログラム	23
⑤すべて興味がある	20
⑥すべて興味がない	3

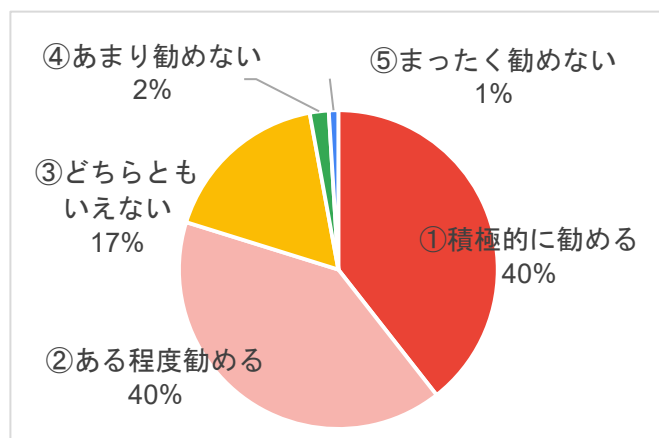


- 6 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生（医師）を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。もし貴院で大学院生（医師）を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。

① 3か月以内		16
② 6か月程度		14
③ 1年程度		40
④ 2年以内		25
⑤ 受入不可		9

- 7 本研究科では、病院等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の一部を、平日の夕刻や土曜日に授業を実施しています。貴院で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

① 積極的に勧める	41
② ある程度勧める	42
③ どちらともいえない	18
④ あまり勧めない	2
⑤ まったく勧めない	1

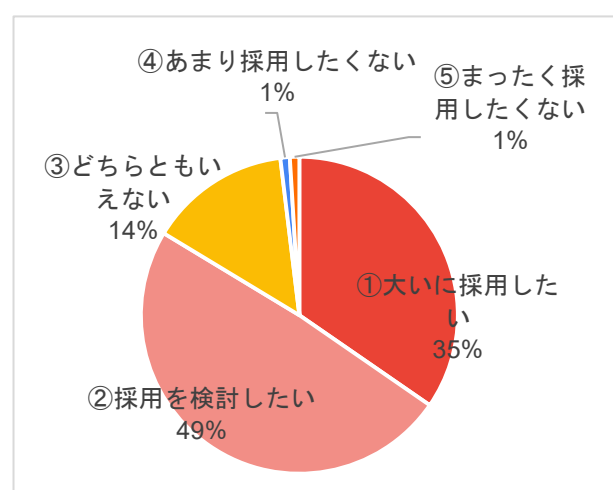


- 8 上記7でそのようにご回答された理由をお答えください。（自由記述）

- ・ 本人の意向を重視する・尊重する。
- ・ 勉強してより有能な人材に育て欲しい。
- ・ 向上心の強い優秀な医師が地域医療に必須。
- ・ 対象者がいない、少ないため。
- ・ 意欲的な若い職員の存在は病院にとっても有意義であるため。
- ・ 勤労意欲も高まるし、双方にとって刺激になり、生産性が高まると確信する。
- ・ 実際の授業日程と当院での診療スケジュールの調整が必要となるため
- ・ 職員の学びに対する要望には応えたいが、医師数が多くないため、他の医師への負担も考慮しなければならない（待機や日直に影響がでる可能性がある）。
- ・ 勉学意欲は尊重したいし、当人のキャリアアップにつながる可能性もあるから。
- ・ 人材不足の為、本来業務に支障の無い範囲で勧めたい。
- ・ 人材不足の為、業務に支障が出る可能性があり、勧められない。
- ・ 幅広い考え方や知識はこれからの職場（病院）には重要と考えるから。
- ・ 臨床研究には当院としても積極的に関わっていきたい。そのための人材が必要。
- ・ 大学院で自ら研究課題を見つけ、学び、周囲とのディスカッションなどで研究の方法論や指導、マネジメントなどを学ぶことにより今後の医療や病院経営などに大いに資すると考える。
- ・ 当院が確保したいと考えている人材と、現在考えられている人材教育システムとの間にギャップがあるから。
- ・ 学術的探究心は医学の発展のみならず、社会性や人間性の向上に欠かせないと思うから。
- ・ 医師として修練する過程で、研究生活に身を置くことは有意義であり、幅広い知識・高度な知識を身につける事が実地臨床でもプラスに働くから。
- ・ 若い人のやりたいことをサポートしたいし、向学心と学問に興味を持つことは、自然科学者にとって大切だと思うから。
- ・ リサーチマインドは常に必要と考えているため、高度医療機関での学習は必要。
- ・ すでに大学院生を受け入れている。人材育成のために積極的対応したい。
- ・ 平日の夕刻や土曜日であれば、通常勤務への影響が少ないと考えられるため。
- ・ 遠隔地のため、通学に時間がかかる。WEB中心の教育となりやすいのでは。
- ・ 医師不足の問題点もあるがなるべく本人の希望に寄り添いたいと考えている

9 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。  
 もしくはすでに採用済みの貴院の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

①大いに採用したい（大いに期待できる）	36
②採用を検討したい（期待できる）	51
③どちらともいえない	15
④あまり採用したくない（あまり期待できない）	1
⑤まったく採用したくない（まったく期待できない）	1



10 上記9でそのようにご回答された理由をお答えください。（自由記述）

- ・是非、採用して臨床研究を当院でも行いたい。病院全体としての臨床研究能力の向上を期待する。
- ・高度な知識・技術を持つ人材は組織にとり重要。また職員のレベルアップは組織のレベルアップにつながる。
- ・当院のレベルアップにつながるとともに、岡山大学との多方面での連携が強められる。
- ・当院でそのキャリアを発揮する場面がない。
- ・大学院教育カリキュラムと当院の経営戦略との間にズレを感じ、あまり役立つとは感じられないから。
- ・岡大の研究課程を修了した人物には病院での医療や運営などでさらに経験を積むことにより、幹部職員として成長が大いに期待できる。また、当院は地域がん診療拠点病院であり、今後のゲノム医療をはじめとする医療の進歩に即戦力となってくれるものと思うので非常に助かると考える。
- ・グローバル医療人は本院も能力の発揮場所になりうると考えるため。
- ・本プログラムで習得された専門性に期待したため。ただし標準的な実臨床能力は必須である。
- ・学位の有無と臨床現場でのスキルは別物と考えるため。
- ・地方の中小病院はどこでも医師が不足しており医療レベルも決して高いとはいえない施設が多く当然有力な戦力となることが期待されます。特にグローバルサブプログラムのような家庭を習得された医師は即戦力となってくれるものと思いますので非常に助かると考えます。
- ・現時点で当院での採用事例がなく、見通しが不透明なため。
- ・プログラムの内容から、当院にとって有用な人材である、あるいは有用な人材に育つと期待できる。
- ・現場で活躍している保健学科の大学院生がおり、手ごたえを感じているので、医学科博士課程でも大いに期待できる。
- ・博士課程で学ぶことで、多くの指導者から学ぶことができ、問題の設定と解決能力を得ることができます。そうした能力が職場で生かされリーダーシップを発揮することと思います。
- ・働き方改革で医師の病院での勤務時間がはっきりするので、以前と比較して平日の夕刻か土日の授業を受けやすくなると予想される。研究マインドがありモチベーションが高い医師を積極的に採用したい。
- ・専門性はもとより、チームワークを推進できる人間性と幅広い視野を持った人材を育てていただければ、当院の組織力が上がり、発展に寄与していただきたい。
- ・幅広い視点、多様な観点から物事を考え、問題点を検討し解決のため行動できる人材は、今後、少子高齢化が進む地域の医療機関において必要と考えられるため。
- ・地域医療病院として人材不足の中、臨床能力のみならず幅広く社会医学をもカリキュラムに含め医療学を習得した人材は是非とも必要です。ただし、困難かもしれませんがコミュニケーション能力、人格形成のためにも座学のみならず様々な現場での実学実習を考慮した本カリキュラムの実践を期待します。
- ・有能な若い人材こそが病院の発展につながるから。





1 医学部医学科卒業後の進路を、どのように考えていますか？

- 1) まずは初期研修したい。 2-1 へ
- 2) ART programで本学（岡山大学）大学院医歯薬学専攻（博士課程）に進学して研修・研究したい。 2-3 へ
- 3) 直ちに大学院博士課程に進学して研究に専念したい。 2-3 へ
- 4) その他（ ） 3 へ

2-1 どのような病院で初期研修や専攻医研修（後期研修）をしたいですか？（複数回答可）

- 1) 岡山大学病院または岡山市民病院(ART program 対象病院)
- 2) 岡山県内または中四国地域などの関連病院
- 3) 出身地周辺の病院
- 4) 有名研修病院
- 5) その他（どんな病院： ）

2-2 大学院への入学時期をどのように考えますか？

- 1) 研修中または研修終了後に入学を希望する。 2-3 へ
- 2) 専門医取得後に入学を希望する。 2-3 へ
- 3) 必要性を感じたら入学を希望する。 2-3 へ
- 4) 大学院への進学は考えていない。 2-5 へ

2-3 大学院への進学（ART program を含む）をお考えの方は、現在、どの大学院への入学を希望されているか教えてください。

- 1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。
- 2) 本学他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。

2-4 その大学院への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

- 1) 研究内容に興味がある  
（研究テーマ： ）
- 2) 同世代と交流するチャンスだから
- 3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから
- 4) 生活上の利便性や経済的な理由から
- 5) 将来のキャリアに有利
- 6) その他（ ）

3 へお進みください。

2-5 大学院への進学は考えていない場合にお答えください。大学院入学を考えない理由を教えてください。（複数回答可）

- 1) 臨床医として働きたい

- 2) 研究に興味を持ってない。
- 3) 研究が自分に向いているか、修了できるかが不安
- 4) 博士課程修了後のキャリアに不安がある。
- 5) 博士課程に進学するメリットを感じない。
- 6) 学費や生活費等の経済的事情から
- 7) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がする。
- 8) 大学院進学に対する家族や友人、知人による反対意見
- 9) その他 (

)

3) へお進みください。

3) 進路について、キャリアコンサルタントとの面談を希望される場合は、下記までメールなどでご連絡ください。ご希望に応じて、適切な教員や先輩へもお繋ぎいたします。

専任キャリアコンサルタント 早瀬佳子

所属：医歯薬学総合研究科学務課教務グループ大学院担当

Office：記念会館 2F ART プログラム室

Tel：086-235-6540

E-mail：info@art-med.jp

\*キャリアコンサルタントは、相談される方の適性や希望に応じて、最適な環境で自分らしく働くことを支援する国家資格を伴う専門職です。守秘義務がありますから安心して話をお聴かせください。



設問は、以上です。ご協力、ありがとうございました。

## 医歯薬学総合研究科（博士課程）に関するアンケート（進路アンケートも含む）

大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保証する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年度予定）を検討しています。この改組は、Society 5.0でのがん医療や地域医療、医療AIなど、世界共通の課題に自ら気づき解決していく実践からの学びを重視する新しい教育プログラムを特色とし、一人ひとりの大学院生が自らの将来像を想定し主体的に学ぶ教育プログラムを検討しています。

このアンケートでは、特に医学学位プログラム及び特色のある教育課程を有する3つのサブプログラム（包括がん研究者・研究医養成サブプログラム、グローバル医療人養成サブプログラム、メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS)養成サブプログラム）について、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。添付資料をご覧いただいた上で、回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

このアンケートは、改組と教育プログラムの改善に使用する資料とさせていただきます。この目的以外には使用いたしません。また個人が特定できる情報の記入はお願いしません。

アンケート項目には、単一回答、複数回答、自由記述がございます。注意しながらご回答ください。

（回答所要時間 約5分）

---

### 【あなた自身について】

1 学年を教えてください。

- 1) 1年生
- 2) 2年生

2 現時点で目指している将来の職種を教えてください。（複数回答可）

- 1) 企業の研究職、開発職、営業職、総合職
- 2) 公務員（もし具体的な種類が決まっていたら記入ください。： )
- 3) 大学教員
- 4) 中学校や高等学校の教員
- 5) 病院や施設の医療職
- 6) その他（職種： )

3 博士課程に進学する場合、日本学生支援機構や大本育英会などの奨学金を申請できることを知っていますか？

- 1) よく知っている。
- 2) よく知らない。

---

1 修士課程修了後の進路をどのように考えていますか？

- 1) 修士課程修了後まずは就職したい。 2-1 へ

- 2) 修士課程修了後すぐに博士課程に進学して研究を続行したい。  へ  
3) その他 (  )  へ

職を得た後の大学院博士課程への進学をどのように考えますか？

- 1) 一定の勤務経験を積んだ後、必要性を感じた時点で進学を検討する。  へ  
2) 勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められれば希望する。  へ  
3) 大学院博士課程への進学は考えていない。  へ

勤務経験を積んだ後、もしくは、勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められた場合に、どの大学院への入学を検討されるか、教えてください。

- 1) 本学(岡山大学)大学院医歯薬学総合研究科(博士課程)への入学を希望する。  
2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院(博士課程)への入学を希望する。  
3) わからない。

大学院博士課程への進学を考える理由は何ですか？(複数回答可)

- 1) 今の研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある  
(研究テーマ: )  
2) 同世代と交流するチャンスだから  
3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから  
4) 生活上の利便性や経済的事由から  
5) 将来のキャリアに有利  
6) その他 (  )

へお進みください。

大学院博士課程への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。(複数回答可)

- 1) 研究にこれ以上興味を持たない  
2) 研究が自分に向いているのか、修了できるかが不安  
3) 博士課程修了後のキャリアに不安がある。  
4) 博士課程に進学するメリットを感じない。  
5) 学費や生活費等の経済的事情から  
6) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がする。  
7) 博士課程進学に対する家族や友人、知人による反対意見  
8) その他 (  )

へお進みください。

3-1 大学院博士課程への進学をお考えの方は、どの大学院への入学を希望していますか？

- 1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。
- 2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。

3-2 その大学院への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

- 1) 今の研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある。

（研究テーマ： \_\_\_\_\_ ）

- 2) 同世代と交流するチャンスだから
- 3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから
- 4) 生活上の利便性や経済的事由から
- 5) 将来のキャリアに有利
- 6) その他（ \_\_\_\_\_ ）

4 進路について、キャリアコンサルタントとの面談を希望される場合は、下記までメールなどでご連絡ください。ご希望に応じて、適切な教員や先輩へもお繋ぎいたします。

専任キャリアコンサルタント 早瀬佳子

所属：医歯薬学総合研究科学務課教務グループ大学院担当

Office：記念会館 2F ART プログラム室

Tel：086-235-6540

E-mail：info@art-med.jp

\*キャリアコンサルタントは、相談される方の適性或希望に応じて、最適な環境で自分らしく働くことを支援する国家資格を伴う専門職です。守秘義務がありますから安心して話をお聴かせください。



設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

## 医歯薬学総合研究科（博士課程）に関するアンケート（進路アンケートも含む）

大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保証する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年度予定）を検討しています。この改組は、Society 5.0でのがん医療や地域医療、医療 AI など、世界共通の課題に自ら気づき解決していく実践からの学びを重視する新しい教育プログラムを特色とし、一人ひとりの大学院生が自らの将来像を想定し主体的に学ぶ教育プログラムを検討しています。

このアンケートでは、特に医学学位プログラム及び特色のある教育課程を有する3つのサブプログラム（包括がん研究者・研究医養成サブプログラム、グローバル医療人養成サブプログラム、メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS) 養成サブプログラム）について、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。添付資料をご覧ください。回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

このアンケートは、改組と教育プログラムの改善に使用する資料とさせていただきます。この目的以外には使用いたしません。また個人が特定できる情報の記入はお願いしません。

アンケート項目には、単一回答、複数回答、自由記述がございます。注意しながらご回答ください。

（回答所要時間 約5分）

---

### 【あなた自身について】

1 臨床研修について教えてください。

- 1) 初期研修中
- 2) 後期研修中
- 3) その他

2 現時点で想定している将来の職種を教えてください。（複数回答可）

- 1) 総合診療医
- 2) 専門医（領域は… ）
- 3) 公務員（厚労省、自治体の医系技官など）
- 4) 大学教員
- 5) その他（職種は… ）

3 医歯薬学総合研究科(博士課程)科目等履修生（Pre-ART）に登録していましたか？

- 1) 登録していた。
- 2) 登録していなかった。

### ART program と Pre-ART について

・ART program とは、「卒後臨床研修」を受けながら、研修1年目から「大学院博士課程」への入学が可能な“学部と大学院をシームレスに連結する”キャリアパスプログラムです。

・Pre-ART とは、学部学生（医学部医学科3年生以上）が大学院講義を早期履修できる制度です。

---

1 今後の進路を、どのように考えていますか？

- 1) まずは研修を終えたい。 2-1 へ
- 2) ART programで本学（岡山大学）大学院医歯薬学専攻（博士課程）に進学して研修・研究したい。 3-1 へ
- 3) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、臨床と研究を両立したい。 3-1 へ
- 4) その他（ ） 4 へ

2-1 研修終了後の大学院博士課程への進学をどのように考えますか？

- 1) 一定の臨床経験を積んだ後、必要性を感じた時点で進学を検討する。 2-2 へ
- 2) 勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められれば希望する。 2-2 へ
- 3) 大学院博士課程への進学は考えていない。 2-4 へ

2-2 臨床経験を積んだ後、もしくは、勤務先から出向などの形で博士課程での履修・研究を求められた場合に、どの大学院への入学を検討されるか、教えてください。

- 1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。
- 2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。
- 3) わからない。

2-3 大学院博士課程への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

- 1) Pre-ARTの研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある  
(研究テーマ： )
- 2) 同世代と交流するチャンスだから
- 3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから
- 4) 生活上の利便性や経済的事由から
- 5) 将来のキャリアに有利
- 6) その他（ )

4 へお進みください。

2-4 大学院博士課程への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。（複数回答可）

- 1) 研究に興味を持ってない。
- 2) 研究が自分に向いているのか、修了できるかが不安
- 3) 博士課程修了後のキャリアに不安がある。
- 4) 博士課程に進学するメリットを感じない。
- 5) 学費や生活費等の経済的事情から
- 6) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がする。
- 7) 博士課程進学に対する家族や友人、知人による反対意見
- 8) その他（ )

4 へお進みください。

3-1 大学院博士課程への進学をお考えの方は、どの大学院への入学を希望していますか？

- 1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。
- 2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。

3-2 その大学院への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

- 1) Pre-ARTの研究テーマを継続したい/研究内容に興味がある  
(研究テーマ： )
- 2) 同世代と交流するチャンスだから
- 3) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから
- 4) 生活上の利便性や経済的事由から
- 5) 将来のキャリアに有利
- 6) その他 ( )

4 進路について、キャリアコンサルタントとの面談を希望される場合は、下記までメールなどでご連絡ください。ご希望に応じて、適切な教員や先輩へもお繋ぎいたします。

専任キャリアコンサルタント 早瀬佳子

所属：医歯薬学総合研究科学務課教務グループ大学院担当

Office：記念会館 2F ART プログラム室

Tel：086-235-6540

E-mail：info@art-med.jp

\*キャリアコンサルタントは、相談される方の適性や希望に応じて、最適な環境で自分らしく働くことを支援する国家資格を伴う専門職です。守秘義務がありますから安心して話をお聴かせください。



設問は以上です。ご協力ありがとうございました。



## 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(博士課程)に関するアンケート

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保障する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組(仮称:医歯薬学専攻、2023年4月予定)を検討しています。

このアンケートでは、医学学位プログラム及び特色のある教育課程を有する3つのサブプログラム(包括がん研究者・研究医養成サブプログラム、グローバル医療人養成サブプログラム、メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS)養成サブプログラム)について、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。お手数をおかけし大変恐縮ですが、添付資料をご覧くださいの上で、回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートは上記の目的にのみ使用し、個人情報収集いたしませんこと、念のため申し添えます。また、病院名のご回答をお願いしておりますが、病院名を公表することはございません。

アンケート項目には、自由記述、単一回答、複数回答がございます。注意しながらご回答ください。

(全10問、回答所要時間 約10分)

- 
- 1 病院名をお答えください。(自由記述)
  
  - 2 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。  
①はい ②いいえ ③わからない
  
  - 3 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。(複数回答可)  
①高度な専門知識・技能 ②幅広い知識 ③人間性や倫理観 ④共同研究力  
⑤情報収集・分析力 ⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力 ⑦国際性  
⑧長期的・短期的な課題設定能力 ⑨課題への探究力 ⑩その他(具体的に・・・)
  
  - 4 3でお答えいただいた力を身につけた人材が、貴院では必要だと思われますか?  
①大いに思う ②思う ③どちらともいえない ④あまり思わない ⑤まったく思わない
  
  - 5 貴院での採用に当たり、どの教育課程の修了者に興味がありますか?(複数回答可)  
①医学学位プログラム(難治性疾患の病因解明や治療、健康寿命延伸に焦点をあてた基礎・臨床・社会医学の先進的教育研究を推進する学位プログラム)  
②包括がん研究者・研究医養成サブプログラム(最新のがん研究に関する統合的理解と研究推進能力を兼ね備えた人材を養成する「がん研究者コース」と、高齢者がん医療、がんゲノム医療、希少がん、小児/思春期・若年成人(AYA)世代がんに関する高度で包括的な知識と技術を持ち、チームで連携してがん診療を提供するため、がん患者の求める全人的医療を實踐できる卓越したがん専門医療人を、多職種連携教育により養成する「がん研究医コース」を包括するサブプログラム)  
③グローバル医療人養成サブプログラム(Local な地域医療ニーズに対して専門性を越えた統合的理解・横断的なアプローチで解決する着眼点・方法論を修得し、Global な視点で問題解決に取り組む姿勢を発展さ

せていくための素養を培うことを目的としたサブプログラム)

- ④メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS) 養成サブプログラム(保健医療分野における研究デザインとデータ収集・解析により、人間集団が織りなす事象を幅広く教育研究の対象とした「ビッグデータ解析コース」と、収集されたデータから AI 技術を応用して価値の創出を目指す「医療 AI 応用コース」からなるサブプログラム)
- ⑤すべて興味がある
- ⑥すべて興味がない

6 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生(医師)を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。

もし貴院で大学院生(医師)を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。

- ①3か月以内 ②6か月程度 ③1年程度 ④2年以内 ⑤受入不可

7 本研究科では、病院等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の一部を、平日の夕刻や土曜日に授業を実施しています。貴院で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

- ①積極的に勧める ②ある程度勧める ③どちらともいえない ④あまり勧めない ⑤まったく勧めない

8 7でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

9 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

もしくはすでに採用済みの貴院の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

- ①大いに採用したい(大いに期待できる) ②採用を検討したい(期待できる) ③どちらともいえない
- ④あまり採用したくない(あまり期待できない) ⑤まったく採用したくない(まったく期待できない)

10 9でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 歯学科生・進路アンケート

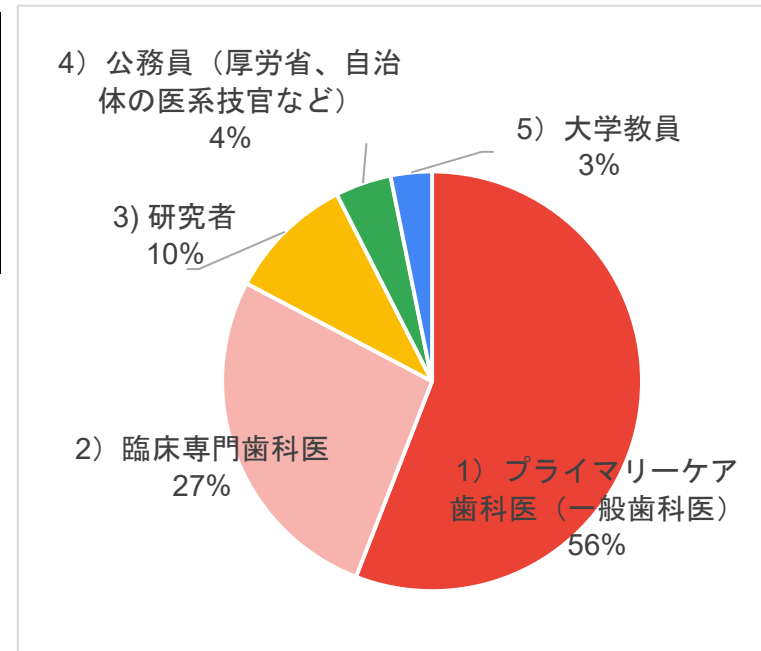
(アンケート対象者数315名 回答者307名 回答率97.5%)

1.学年を教えてください。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
48	51	47	51	62	48	307

2.現時点で想定している将来の職種を教えてください。(複数回答可)

1) プライマリーケア歯科医 (一般歯科医)	246
2) 臨床専門歯科医	118
3) 研究者	43
4) 公務員 (厚労省、自治体の医系技官など)	19
5) 大学教員	14



上記で「臨床専門歯科医」と答えた方は、領域を教えてください。

口腔外科	52
矯正歯科	29
歯周科	9
歯科麻酔科	4
補綴歯科	4
インプラント科	2
保存歯科	2
スペシャルニーズ歯科	1
スポーツ歯科	1
再生歯科	1
審美歯科	1
予防歯科	1

1-1 歯学部歯学科卒業後、ほとんどの方は歯科医師臨床研修を受けます。

どのような研修施設で研修を受けたいですか？(複数回答可)

1) 大学病院	222
2) 岡山県内または中四国地域などの研修施設	108
3) 出身地周辺の研修施設	123
4) 有名研修施設	71
5) その他	6

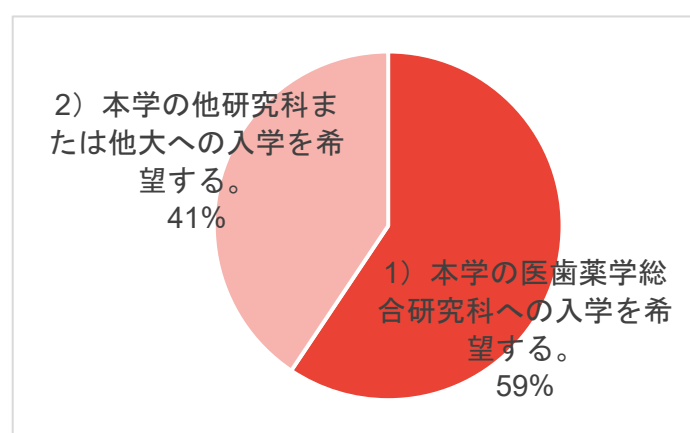
その他：地域の中核病院、都会の病院、都内、民医連関係の歯科診療、関西地域の研修施設、臨床例を多く経験できるところ

1-2 大学院への入学時期をどのように考えますか？

1) 研修開始と同時に入学を希望する。	49
2) 研修終了後に入学を希望する。	57
3) 専門医取得後に入学を希望する。	3
4) 必要性を感じたら入学を希望する。	120
5) 大学院への進学は考えていない。	78

1-3 博士課程の進路は、現在、どのように考えていますか？

1)本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。	136
2)本学他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。	93



1-4 その大学院への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

1) 研究内容に興味がある	48
2) 同世代と交流するチャンスだから	35
3) キャリアに有利だから	106
4) 生活面の理由から	62
5) 気心を知った先生がいるから	37
6) 家族や知人から勧められているため	26
7) その他（以下）	8

認定医の取得のため。必要性があれば進学も視野に入れるべきだと考える。

自分の経験を豊かにしたい。他の土地にも行ってみたい。等

1-4で1)を選んだ方は、興味のある研究テーマを具体的に教えてください。

ゲノム解析、神経生理学、解剖学、歯周科、口腔外科、口腔がん、AIによる画像診断、インプラント、骨代謝、骨の発生、再生医療、遺伝子、補綴、生化学、口腔病理学
---

1-5 大学院への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。（複数回答可）

1) 研究に興味を持っていないから	36
2) 研究が自分に向いているか、修了できるかが不安なため	22
3) 将来の進路が不安なため	13
4) 臨床で働き続けたいから	34
5) 就学時の経済的な問題のため	13
6) ライフイベントの問題（結婚や出産など）から	20
7) 家族や知人から反対意見を聞かされているため	3
8) その他（金銭・現時点において、大学院に行くメリットが理解できない）	2

2-1 大学院進学について、どのような情報が欲しいですか。

1) 研究内容について	222
2) 修了要件について	178
3) 留学について	82
4) 奨学金について	109
5) 奨学金以外の収入について	131
6) 出産や育児との両立について。	104
7) その他（研究室ごとの雰囲気、カリキュラム）	2

2-2 将来の進路を検討するにあたり、各教育研究分野にどのような相談窓口があればいいと思いますか。

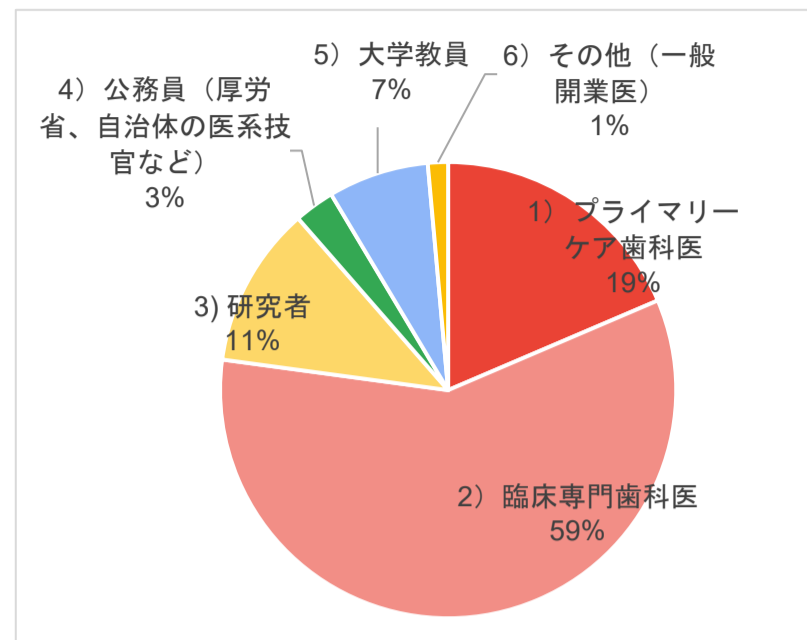
1) 対面で相談の機会がほしい。	146
2) オンラインで面談の機会がほしい。	83
3) メールで相談できる窓口がほしい。	133
4) 相談窓口は必要ない。	23
5) その他（大学院生に相談できる窓口が欲しい。見学がしたい。）	2

## 歯学科卒業生：進路アンケート

(アンケート対象者数207名 回答者53名 回答率25.6%)

1. 現時点で想定している将来の職種を教えてください。(複数回答可)

1) プライマリーケア歯科医	13
2) 臨床専門歯科医	41
3) 研究者	8
4) 公務員(厚労省、自治体の医系技官など)	2
5) 大学教員	5
6) その他(一般開業医)	1



2. 上記で「臨床専門歯科医」と答えた方は、領域を教えてください。

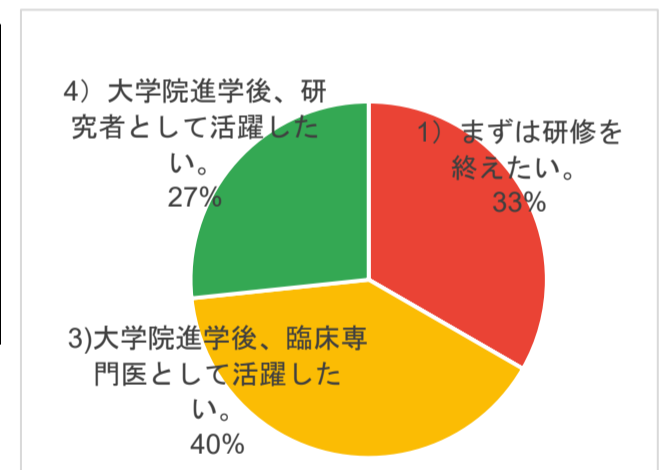
口腔外科	12
一般歯科	8
補綴歯科	6
歯周科	3
インプラント科	2
矯正歯科	2
小児歯科	1
予防歯科	1

3. 臨床研修について教えてください。

1) 初期研修中	13
2) 後期研修中	2
3) 初期研修、後期研修ともに修了した	13
4) 初期研修は修了したが、後期研修は行っていない	25

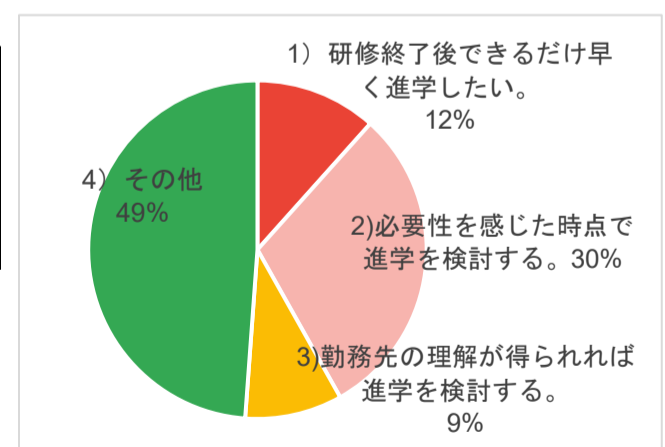
① (3で研修中を選んだ方へ) 今後の進路を、どのように考えていますか?(複数回答可)

1) まずは研修を終えたい。	5
2) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、国際的な研究者を目指したい。	0
3) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、臨床技術や知識を高め、臨床専門医として活躍したい。	6
4) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、臨床技術や知識を高めながら、研究者としても活躍したい。	4



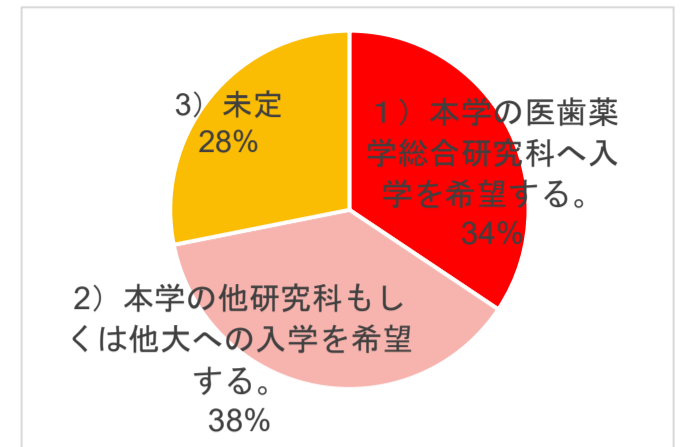
② 研修終了後の大学院博士課程への進学をどのように考えますか。

1) 研修終了後できるだけ早く進学したい。	5
2) 一定の臨床経験を積んだ後、必要性を感じた時点で進学を検討する。	13
3) 勤務先の理解が得られれば、社会人大学院生としての進学を検討する。	4
4) 大学院博士課程への進学は考えていない。	21



③-1.大学院博士課程への進学をお考えの方は、以下にお答えください。

1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。	11
2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。	12
3) 未定	9



③-2. その大学院への進学を考える理由は何ですか。（複数回答可）

1) 同世代や異分野と交流するチャンスだから	14
2) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから	5
3) 生活上の利便性から	0
4) 将来のキャリアに有利だから	24
5) 家族や知人から勧められているため	3
6) その他（専門医取得のため。開業医では専門的に学ぶのは難しいから）	2

④大学院博士課程への進学は考えていない理由を教えてください。（複数回答可）

1) 研究に興味を持っていないから	10
2) 研究が自分に向いているのか、博士課程を修了できるかが不安なため	6
3) 博士課程修了後のキャリアに不安があるため	6
4) 博士課程に進学するメリットを感じないため	6
5) 学費や生活費等の経済的事情から	3
6) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がするため	6
7) 家族や友人、知人から反対意見を聞かされているため	0

⑤大学院進学について、どのような情報が欲しいですか。

1) 研究内容について	37
2) 修了要件について	31
3) 留学について	18
4) 奨学金について	24
5) 奨学金以外の収入について	22
6) 出産や育児との両立について	23
7) その他（研究・臨床の指導プラン、給与や残務の改善が見込まれるか）	2

## 歯・病院等施設向け・出口アンケート

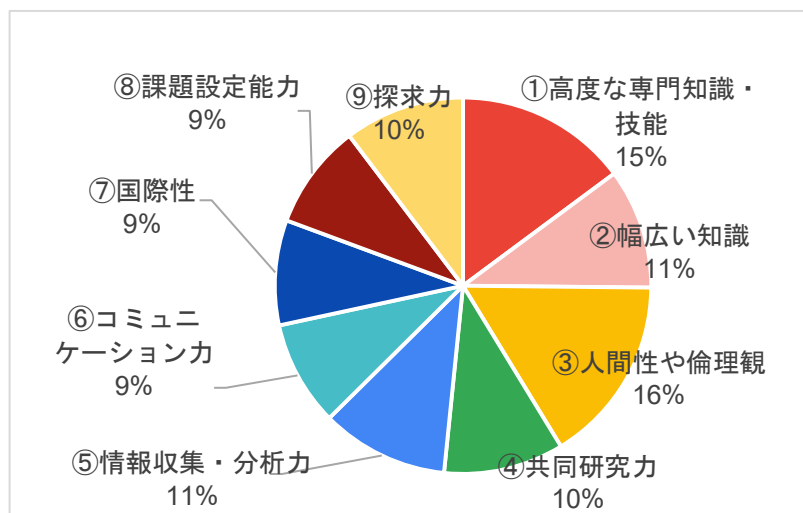
(アンケート対象者数56名 回答者27名 回答率48.2%)

1 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。

①はい	17
②いいえ	7
③わからない	3

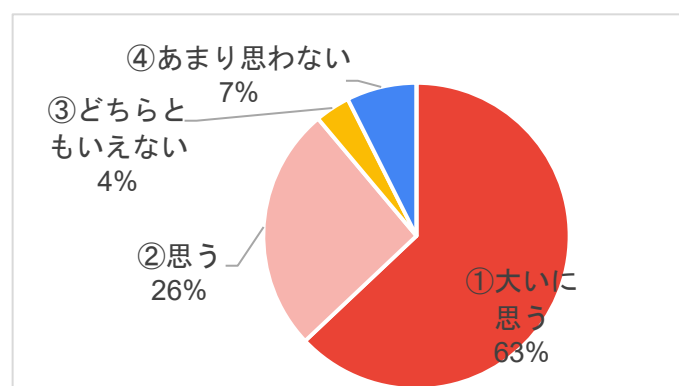
2 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。(複数回答可)

①高度な専門知識・技能	23
②幅広い知識	16
③人間性や倫理観	25
④共同研究力	16
⑤情報収集・分析力	17
⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力	14
⑦国際性	14
⑧長期的・短期的な課題設定能力	14
⑨課題への探求力	16



3 2でお答えいただいた力を身につけた人材が、貴院では必要だと思われませんか？

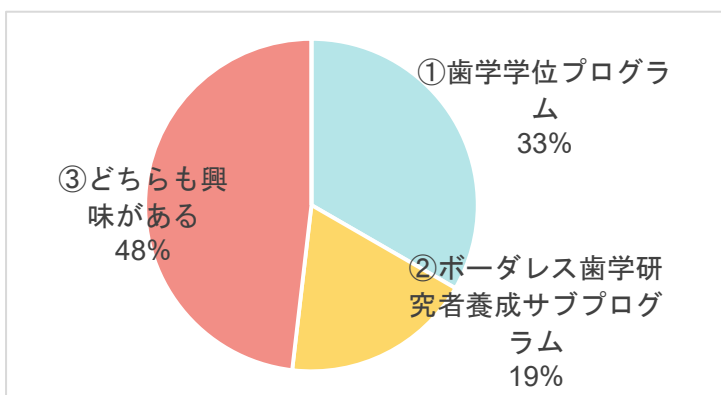
①大いに思う	17
②思う	7
③どちらともいえない	1
④あまり思わない	2
⑤まったく思わない	0



4 貴院での採用に当たり、どちらの教育課程の修了者に興味がありますか？

<b>①歯学学位プログラム</b> 感染症、がん、再生・再建医療、予防医療、審美医療、自己免疫疾患、老年医療などの高度専門歯科医療や歯科医学における種々の問題を解決するための先導的教育研究を推進する学位プログラム
<b>②ボーダレス歯学研究者養成サブプログラム</b> 歯科医学における幅広い学識に支えられた、高度な先見性と研究能力を有し、学際的・国際的、すなわちボーダレスに活躍し地球規模での歯科医学を発展させていくための素養を培うことを目的としたサブプログラム

①歯学学位プログラム	9
②ボーダレス歯学研究者養成サブプログラム	5
③どちらも興味がある	13
④どちらも興味がない	0

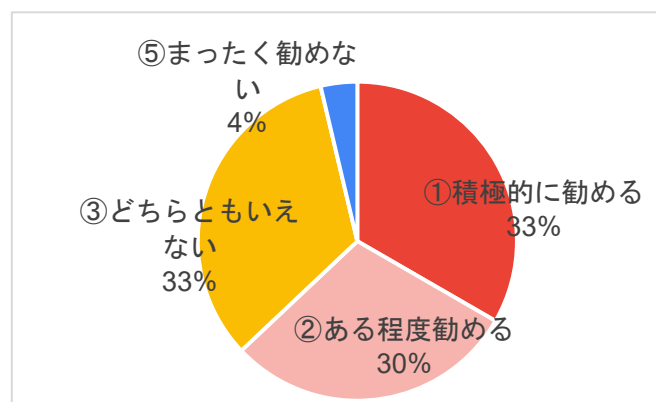


5 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生(歯科医師)を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。もし貴院で大学院生(歯科医師)を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。

①3か月以内	3
②6か月程度	5
③1年程度	8
④2年以内	4
⑤受入不可	7

6 本研究科では、病院等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の授業を一部、平日の夕刻や土曜日に実施しています。貴院で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

①積極的に勧める	9
②ある程度勧める	8
③どちらともいえない	9
④あまり勧めない	0
⑤まったく勧めない	1



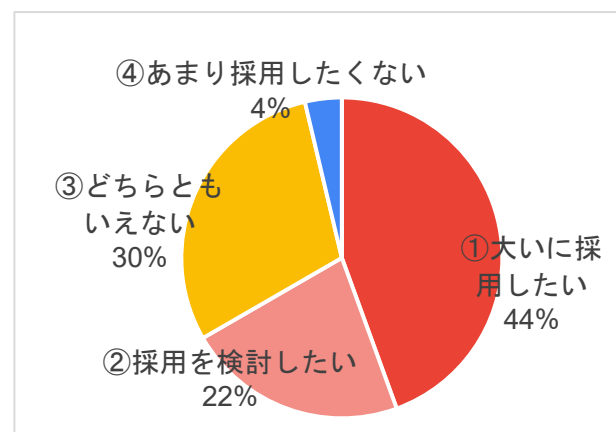
7 6でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

- ・ その時の状況に左右されると考える
- ・ 具体がまだわかりません。
- ・ 雇用期間が明らかでない状況であるため
- ・ 歯科医師以外も受け入れ可能であれば、考慮したいと思う。
- ・ 選択肢の幅を広げるため
- ・ 当院勤務時間外の時間を有効活用してもらい、自己の研鑽はもちろん、歯科医学を通じて社会貢献できる人材を育てたいと考えているため。
- ・ あまり改組に期待はしていないため。特に社会人大学院生に関しては、本当に自立して育つ学生は僅かだと思う。
- ・ 平日の午後、土曜日の勤務体制の調整が必要となる。他の職員との休みの平等性が担保できるかわからないため。
- ・ 平日夕刻の勤務が難しいのではないかと考えるため。
- ・ 優秀な若手を育てるため
- ・ 夕方の時刻によるが、夕方は、患者さんの多い時間帯でスタッフは、欲しいから。
- ・ 勤務と勉強の折り合いを上手くつけられなかった時誰かに蹴寄せが来ることも考えられるので、いいとは思いますが何でもかんでも両手を上げて賛成と言うのは難しいところがあります。
- ・ 社会人大学院生の獲得のためには必須と考えます。また、オンライン形式が当たり前となった現状では、対応しない理由はないと思います。(内容によってはオンライン形式が難しいことは理解しております。)

8 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

もしくはすでに採用済みの貴院の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

①大いに採用したい(大いに期待できる)	12
②採用を検討したい(期待できる)	6
③どちらともいえない	8
④あまり採用したくない(あまり期待できない)	1
⑤まったく採用したくない(まったく期待できない)	0



9 8でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

- ・ もともと博士課程を修了していることが採用の条件としています。
- ・ 既に採用した職員が優れた人材であったから。
- ・ 具体がわかりません。
- ・ 採用したいが、籍が少ない上に助教(教員)採用が本部の意向でとめられており、計画的な人事ができない状況が続いている。大学以外の施設の職員に関しては、それほど期待できない。
- ・ 採用には関与していない、受け入れ期間の設問も回答は困難
- ・ 仕事を通じて大いに学んできた事を活かしてほしいので、採用には前向きです。
- ・ 歯学学位プログラムは非常にいいものであると考えるため
- ・ 修了者の専門性だけでなく、人間性も考慮したいため。
- ・ 大学院で学んだことを臨床にどのようにフィードバックできるか実際の現場で感じ取ってもらい、今後の歯科会の進むべき方向性を共に考えたい。今の大学は研究業績重視で、人材育成が不十分だと思います。当施設がそのお手伝いをできればと考えています。
- ・ 地元密着型歯科医院なので、国際性はあってもいいが、そこまでニーズは無いと思う。
- ・ 当院に該当者を採用し、非常に当院に貢献して頂いているため。



## 医歯薬学総合研究科（博士課程）に関するアンケート（進路アンケートも含む）

大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 伊達 勲

岡山大学歯学部 歯学部長 長塚 仁

諸君が歯学部を卒業後、1年の研修医期間を経て、さらに歯科医師や研究者としてキャリアアップするために岡山大学大学院医歯薬学総合研究科では4年制博士課程を準備しております。この度、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科では、この4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年度4月予定）を検討しています（説明資料添付）。この改組では、一人ひとりの大学院生が自らの将来像（キャリアパス）を想定し主体的に学ぶ教育プログラムを受講できる様に検討しています。特に、歯学学位プログラムにおいては、日本歯科専門医機構による広告可能な歯科専門医認定時代を見据えて、独立して基盤研究や臨床研究を実施することができる研究者養成機能に加えて、現在得られる最高レベルの臨床技術や知識、さらには、患者の苦悩に寄り添える態度を教育する臨床専門医養成プラクティカム（実習）を加えた実践的な臨床専門医養成プログラムを展開する予定です。また、国際的、学際的なトップレベルの研究者を目指す学生や、全世界からの優秀な留学生を広く受け入れる「ボーダレス歯学サブプログラム」を設定し、多様なニーズに対応する予定です。このようなプログラムの策定に参考とするために、アンケート調査を行いますので、添付資料をご覧くださいの上で、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケートは、改組と教育プログラムの改善に使用する資料とさせていただきます。この目的以外には使用いたしません。また個人が特定できる情報の記入はお願いしません。

選択で回答するものは該当する番号に○をつけ、記入して回答するものは具体的にご記入ください。

（回答所要時間 約5分）

---

**【あなた自身について】**

1. 学年を教えてください。

学年： 1) 1年生 2) 2年生 3) 3年生 4) 4年生 5) 5年生 6) 6年生

2. 現時点で想定している将来の職種を教えてください。（複数回答可）

- 1) プライマリーケア歯科医（一般歯科医）
  - 2) 臨床専門歯科医（領域は… ）
  - 3) 研究者
  - 4) 公務員（厚生労働省、自治体の医系技官など）
  - 5) 大学教員
  - 6) その他（職種は… ）
- 

**1-1** 歯学部歯学科卒業後、ほとんどの方は歯科医師臨床研修を受けます。どのような研修施設で研修を受けたいですか？（複数回答可）

- 1) 大学病院
- 2) 岡山県内または中四国地域などの研修施設
- 3) 出身地周辺の研修施設
- 4) 有名研修施設
- 5) その他（どの様な研修施設： ）

**1-2**へ

**1-2** 大学院への入学時期をどのように考えますか？

- 1) 研修開始と同時に入学を希望する。 **1-3** へ
- 2) 研修終了後に入学を希望する。 **1-3** へ
- 3) 専門医取得後に入学を希望する。 **1-3** へ
- 4) 必要性を感じたら入学を希望する。 **1-3** へ
- 5) 大学院への進学は考えていない。 **1-5** へ

**1-3** 博士課程の進路は、現在、どのように考えていますか？

- 1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。
- 2) 本学他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。

**1-4**へ

1-4 その大学院への進学を考える理由は何ですか？（複数回答可）

- 1) 研究内容に興味がある。（具体的に )
- 2) 同世代と交流するチャンスだから。
- 3) キャリアに有利だから。
- 4) 生活面の理由から。
- 5) 気心を知った先生がいるから。
- 6) 家族や知人から勧められているため。
- 7) その他 ( )

2-1 へ

1-5 大学院への進学は考えていない場合、その理由を教えてください。（複数回答可）

- 1) 研究に興味を持ってないから。
- 2) 研究が自分に向いているか、修了できるかが不安なため。
- 3) 将来の進路が不安なため。
- 4) 臨床で働き続けたいから。
- 5) 就学時の経済的な問題のため。
- 6) ライフイベント（結婚や出産など）の問題から。
- 7) 家族や知人から反対意見を聞かされているため。
- 8) その他 ( )

2-1 へ

2-1 大学院進学について、どのような情報が欲しいですか。

- 1) 研究内容について。
- 2) 修了要件について。
- 3) 留学について。
- 4) 奨学金について。

- 5) 奨学金以外の収入について。
- 6) 出産や育児との両立について。
- 7) その他 ( )

2-2 将来の進路を検討するにあたり、各教育研究分野にどのような相談窓口があればいいと思いますか。

- 1) 対面で相談の機会がほしい。
- 2) オンラインで面談の機会がほしい。
- 3) メールで相談できる窓口がほしい。
- 4) 相談窓口は必要ない。
- 5) その他 ( )

---

3 進路について面談を希望する場合は、以下に簡単な相談内容、連絡先（メールアドレスだけで結構です）を記入ください。秘密は厳守し、あなたの希望に応じて教員や先輩につながります。なお、相談内容、連絡先情報はこの面談目的以外に使用しません。

相談内容：（「～について」程度で簡単に）

連絡先：教務グループ歯学部担当

Office：管理棟 2F

Phone：086-235-6627

Email：mag6627@adm.okayama-u.ac.jp

設問は、以上です。ご協力、ありがとうございました。

医歯薬学総合研究科（博士課程）に関するアンケート（進路アンケートも含む）

大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 伊達 勲

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保証する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年度4月予定）を検討しています。この医歯薬学総合研究科（博士課程）の改組では、一人ひとりの大学院生が自らの将来像（キャリアパス）を想定し主体的に学ぶ教育プログラムを構築することを検討しています。特に、歯学学位プログラムにおいては、日本歯科専門医機構による広告可能な歯科専門医認定時代を見据えて、独立して基盤研究や臨床研究を実施することができる研究者養成教育に加えて、現在得られる最高レベルの臨床技術や知識、さらには、患者の苦悩に寄り添える態度を教育する臨床専門医養成プラクティカム（実習）を有機的に統合した実践的な臨床専門医養成プログラムを展開する予定です。また、国際的、学際的なハイレベルの研究者を目指す学生や、全世界からの留学生を広く受け入れる「ボーダレス歯学サブプログラム」を設定し、多様なニーズに対応する予定です。このようなプログラムの策定に参考とするために、アンケート調査を行いますので、添付資料をご覧ください。また、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケートは、改組と教育プログラムの改善に使用する資料とさせていただきます。この目的以外には使用いたしません。また、個人が特定できる情報の記入はお願いしません。

---

【あなた自身について】

1. 現時点で想定している将来の職種を教えてください。（複数回答可）

- 1) プライマリーケア歯科医
- 2) 臨床専門歯科医
- 3) 研究者
- 4) 公務員（厚労省、自治体の医系技官など）
- 5) 大学教員
- 6) その他（職種は… )

2. 上記で「臨床専門歯科医」と答えた方は、領域を教えてください。

( )

3. 臨床研修について教えてください。

- 1) 初期研修中
- 2) 後期研修中
- 3) 初期研修、後期研修ともに修了した
- 4) 初期研修は修了したが、後期研修は行っていない
- 5) その他:

3. で1)～2)を選んだ方は へ、3)～5)を選んだ方はへお進みください。

---

今後の進路を、どのように考えていますか？（複数回答可）

- 1) まずは研修を終えたい。  へ
  - 2) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、国際的な研究者を目指したい。  へ
  - 3) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、臨床技術や知識を高め、臨床専門医として活躍したい。  
 へ
  - 4) 研修終了後は大学院博士課程に進学し、臨床技術や知識を高めながら、研究者としても活躍したい。  
 へ
  - 5) その他（  ）  へ
- 

研修終了後の大学院博士課程への進学をどのように考えますか。

- 1) 研修終了後できるだけ早く進学したい。  へ
  - 2) 一定の臨床経験を積んだ後、必要性を感じた時点で進学を検討する。  へ
  - 3) 勤務先の理解が得られれば、社会人大学院生としての進学を検討する。  へ
  - 4) 大学院博士課程への進学は考えていない。  へ
-

3-1 大学院博士課程への進学をお考えの方は、以下にお答えください。

- 1) 本学（岡山大学）大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）への入学を希望する。
- 2) 本学の他研究科もしくは国内外の他大学の大学院（博士課程）への入学を希望する。
- 3) 未定。

3-2 へ

3-2 その大学院への進学を考える理由は何ですか。（複数回答可）

- 1) 同世代や異分野と交流するチャンスだから。
- 2) 研究室に気心を知った先輩や先生がいるから。
- 3) 生活上の利便性から。
- 4) 将来のキャリアに有利だから。
- 5) 家族や知人から勧められているため。
- 6) その他（ )

5 へ

---

4 （大学院博士課程への進学は考えていない）その理由を教えてください。（複数回答可）

- 1) 研究に興味を持ってないから。
- 2) 研究が自分に向いているのか、博士課程を修了できるかが不安なため。
- 3) 博士課程修了後のキャリアに不安があるため。
- 4) 博士課程に進学するメリットを感じないため。
- 5) 学費や生活費等の経済的事情から。
- 6) 結婚や出産等のライフイベントに障る気がするため。
- 7) 家族や友人、知人から反対意見を聞かされているため。
- 8) その他（ )

5 へ

---

5 大学院進学について、どのような情報が欲しいですか。

- 1) 研究内容について。
- 2) 修了要件について。
- 3) 留学について。
- 4) 奨学金について。
- 5) 奨学金以外の収入について。
- 6) 出産や育児との両立について。
- 7) その他 ( )

6 進路について面談を希望する場合は、以下に簡単な相談内容、連絡先（メールアドレスだけで結構です）を記入ください。秘密は厳守し、あなたの希望に応じて教員や先輩につながります。なお、相談内容、連絡先情報はこの面談目的以外に使用しません。

相談内容：(「～について」程度で簡単に)

連絡先：教務グループ歯学部担当

Office：管理棟 2F

Phone：086-235-6627

Email：mag6627@adm.okayama-u.ac.jp

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。



岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）に関するアンケート

大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 伊達 勲

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保証する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年4月予定）を検討しています。

この改組では、一人ひとりの大学院生が自らのニーズに合わせて、必要な教育内容を主体的に選び、学ぶ教育プログラムを構築することを検討しています。特に、歯学学位プログラムにおいては、日本歯科専門医機構による広告可能な歯科専門医認定時代を見据えて、独立して基盤研究や臨床研究を実施することができる研究者養成機能に加えて、現在得られる最高レベルの臨床技術や知識、さらには、患者の苦悩に寄り添える態度を教育する臨床専門医養成プラクティカム（実習）を有機的に統合した実践的な臨床専門医養成プログラムを展開する予定です。また、国際的、学際的なハイレベルの研究者を目指す者や、全世界からの留学生を広く受け入れる「ボーダレス歯学サブプログラム」を設定し、多様なニーズに対応する予定です。このようなプログラムの策定に参考とするために、アンケート調査を行いますので、添付資料をご覧ください。回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケートは上記の目的にのみ使用し、個人情報収集いたしませんこと、また、貴施設名が特定できる情報の記入はお願いしませんことを、念のため申し添えます。

アンケート項目には、自由記述、単一回答、複数回答がございます。注意しながらご回答ください。

（全10問、回答所要時間 約10分）

1 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。

①はい ②いいえ ③わからない

2 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。（複数回答可）

①高度な専門知識・技能 ②幅広い知識 ③人間性や倫理観 ④共同研究力  
⑤情報収集・分析力 ⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力 ⑦国際性  
⑧長期的・短期的な課題設定能力 ⑨課題への探究力 ⑩その他（具体的に： )

3 2でお答えいただいた力を身につけた人材が、貴院では必要だと思われませんか？

①大いに思う ②思う ③どちらともいえない ④あまり思わない ⑤まったく思わない

4 貴院での採用に当たり、どちらの教育課程の修了者に興味がありますか？

①歯学学位プログラム（感染症、がん、再生・再建医療、予防医療、審美医療、自己免疫疾患、老年医療などの高度専門歯科医療や歯科医学における種々の問題を解決するための先導的教育研究を推進する学位プログラム）

②ボーダレス歯学研究者養成サブプログラム（歯科医学における幅広い学識に支えられた、高度な先見性と研究能力を有し、学際的・国際的、すなわちボーダレスに活躍し地球規模での歯科医学を発展させていくための素養を培うことを目的としたサブプログラム）

③どちらも興味がある

④どちらも興味がない

5 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生（歯科医師）を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。

もし貴院で大学院生（歯科医師）を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。

- ① 3か月以内    ② 6か月程度    ③ 1年程度    ④ 2年以内    ⑤ 受入不可

6 本研究科では、病院等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の授業を一部、平日の夕刻や土曜日に実施しています。

貴院で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

- ① 積極的に勧める    ② ある程度勧める    ③ どちらともいえない    ④ あまり勧めない  
⑤ まったく勧めない

7 6でそのようにご回答された理由をお答えください。（自由記述）

8 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

もしくはすでに採用済みの貴院の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

- ① 大いに採用したい（大いに期待できる）    ② 採用を検討したい（期待できる）    ③ どちらともいえない  
④ あまり採用したくない（あまり期待できない）    ⑤ まったく採用したくない（まったく期待できない）

9 8でそのようにご回答された理由をお答えください。（自由記述）

アンケートは以上です。    ご協力ありがとうございました。

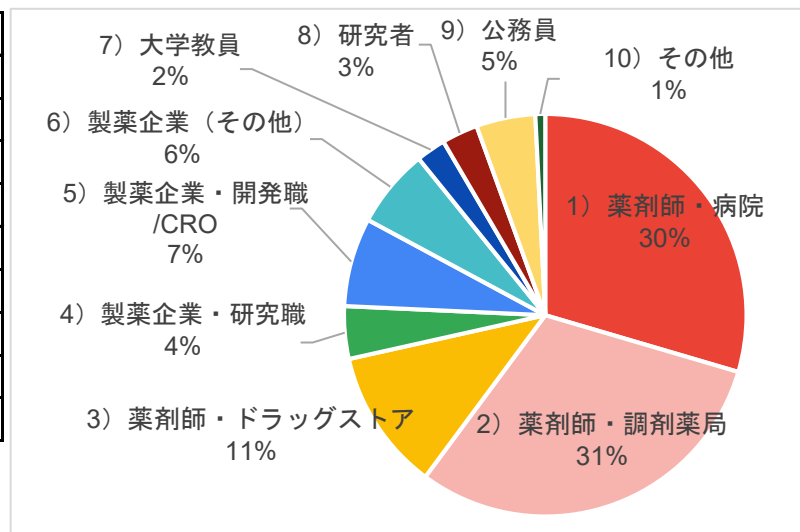
## 薬・在学生および卒業生向けアンケート結果

アンケート対象者数401名 回答者214名 回答率53%

(対象者401名うち卒業・修了生215名、現役生186名) (回答者214名うち卒業・修了生56名、現役生158名)

1 現時点で想定している将来の職種を教えてください。※卒業生で就職されている方は職種を教えてください。(複数回答可)

1) 薬剤師(病院勤務)	112
2) 薬剤師(調剤薬局勤務)	116
3) 薬剤師(ドラッグストア勤務)	43
4) 製薬企業(研究職)	16
5) 製薬企業(開発職、CROも含む)	27
6) 製薬企業(その他の職種)	24
7) 大学教員	9
8) 公的研究機関の研究者	11
9) 公務員	18
10) その他(職種: 研究員, 食品開発他)	3



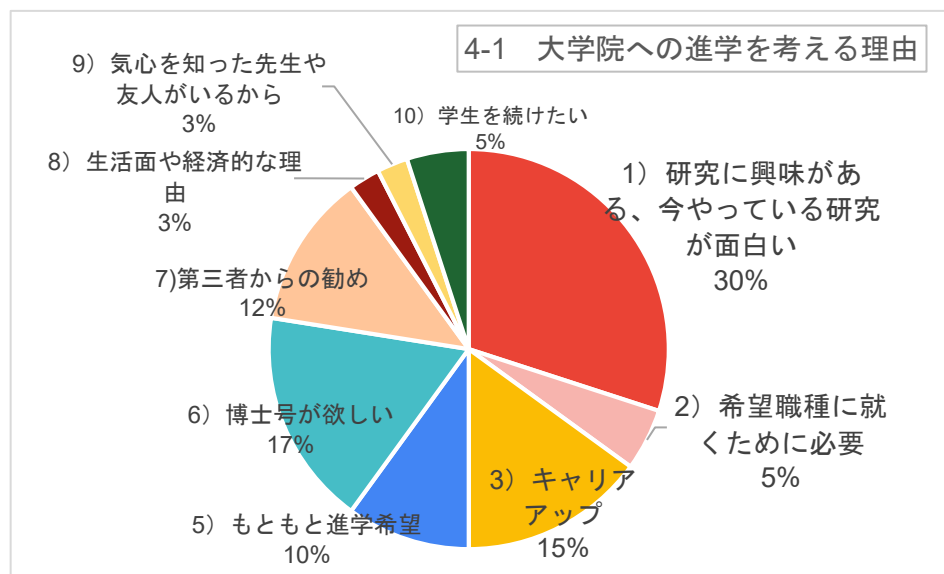
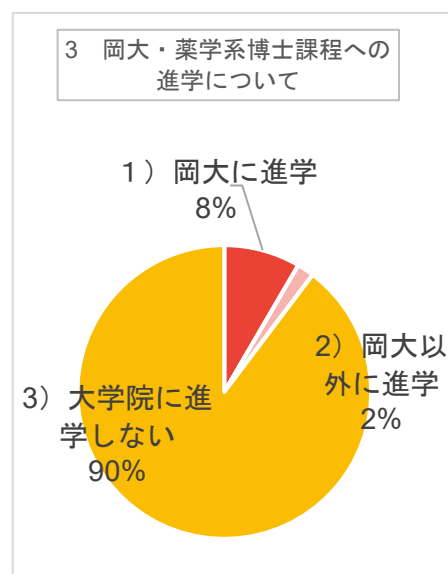
2 学年を教えてください。(現役生は薬学科、卒業・修了生は岡山大学・薬学系博士課程に所属)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	修了生	博士未進学 の卒業生	計
現役生	10	14	33	28	32	32			149
卒業・修了生	3	0	4	2			3	56	68

3 岡大・薬学系博士課程への進学について、現時点での考えをお聞かせ下さい

現時点で未定の方は博士課程への進学しないを選択してください。

	現役生	卒業・修了生	計
1) 岡大・薬学系博士課程に進学する(している・した)	13	5	18
2) 岡山大学以外の大学院博士課程に進学する(している・した)	2	2	4
3) 大学院博士課程には進学しない(しなかった)	143	49	192



4-1 その大学院への進学を考える理由は何ですか？(複数解答可)

	現役生	卒業・修了生	計
1) 研究に興味がある、今やっている研究が面白い	8	4	12
2) 希望職種に就くために必要	2	0	2
3) キャリアアップのため	5	1	6
4) 教育課程に魅力がある	0	0	0
5) もともと進学希望があった	3	1	4
6) 博士号が欲しい	4	3	7
7) 第三者(教員、家族、知人など)からの勧め	4	1	5
8) 生活面や経済的な理由	0	1	1
9) 気心を知った先生や友人がいるから	0	1	1
10) 学生を続けたい	2	0	2

4-2 岡山大学大学院への進学を考えない理由は何ですか？（複数解答可）

	現役生	卒業・修了生	計
1) 研究に興味がない	57	21	78
2) 自身のライフプランに博士号が不要	47	20	67
3) 研究に向いているか、修了できるかどうかが不安	59	15	74
4) 将来の進路が不安	37	5	42
5) 岡山大学大学院の教育課程に魅力がない	8	3	11
6) 第三者（教員、家族、知人など）からの勧め	2	0	2
7) 生活面や経済的な理由	59	21	80
8) 早く社会に出て自立したい	88	28	116
9) ライフイベント（結婚や出産など）の問題	49	23	72
10) その他	1	0	1

その他・・・岡山大学薬学系ないし現在の環境では、Dr.に進学しても、自分自身の成長やキャリアアップにはつながらないと考えた。

4-3 今後どうであれば岡大・薬学系博士課程でよりよい研究活動ができると思いますか？（自由記述）

【現役生】

- ・ 研究の自由度が広がること。
- ・ 様々な経験を積める機会があるといい。
- ・ 最初の1年間で研究の基礎を身につけることでより良い研究活動ができると思う。
- ・ 薬剤師として働くにしても場合によっては博士号が必要になる可能性があると思われる。金銭面での悩みや就職についての悩みが解消すればよいと思った。
- ・ ひとつひとつのデータに関して考える余裕が生まれるような日程で研究出来ると良い。

【卒業・修了生】

- ・ 薬学系が医歯薬学総合研究科の医・歯学系とは別のホームページで分かりづらく、研究以外の部分で苦労しました。
- ・ 学生側の要因とは思いますが、勉強することや研究することの楽しさをわかってもらうことだと思います。どうすれば変わるかと言えば恐らく1-4年の授業で興味を持ってもらうようにする、研究室では言われたことをやらせるではなく、自分で考えて実験していると感じられるような指導方針にするのでしょうか？

4-4 どうであれば岡大・薬学系博士課程へ進学を決めていましたか？（自由記述）

【現役生】

- ・ 将来のポストが見つかりやすい。在学中、また卒業後の経済的安定性が高い。
- ・ 博士号が必須の職種を希望していたら進学していた。
- ・ 博士課程を修了したこと、研究をしてきたことを活かせるキャリアプランがもっとあればよい。
- ・ 研究がとても好きで研究者になりたいと思う人間だったら進学を考えたと思う。
- ・ もっと自分に研究能力があり、就職よりも興味があったら。
- ・ 研究が人生における1番の目標になっていたら。
- ・ 経済的に余裕があり、将来のビジョンがはっきりしていれば。
- ・ 研究に向いている自信があり、一生を研究に費やしてもよいと考えることができた場合。今は実験もなく自分のスキルが不明なので、研究に向いているかどうか判断できず、博士課程に進むことを決定するには不安が大きいです。
- ・ 卒後のキャリアについて学生の意向をきちんと聞き、適切な指導と補助（特に後者が大切）を与えられること。博士卒は民間就職に不利に働く傾向があるため、研究指導以外は自己責任という姿勢では、学部卒時点で外部に出ていかざるを得ない。博士課程の学生（もっと言えば修士以下の学生含め）をきちんと一人の学生・研究者として対等に扱うこと。4年間の中で研究者として成長できる環境（人的・金銭的・設備的、その他もろもろ）を提供できること。

### 【卒業・修了生】

- ・ 博士課程終了後の方が明確にその後の就職にメリットがあることが明らかであれば進学していたかもしれません。
- ・ 研究や博士号を前提としたキャリアに興味を湧いていた場合
- ・ 必要性があれば。
- ・ 自分が研究に向いている、これからも研究を続けたいと感じていれば進んでいた。
- ・ 専門薬剤師になりたいという目標があり、早く実践を積むため現場に出たかった。
- ・ 社会人ドクターの受入/支援体制が整っていれば検討した。また、リモート対応が進んでいれば検討した（距離的な問題）
- ・ 経済的な問題の解消、また研究が上手くいきそうだった場合。ただ社会に出てみると10年間学生でいるより社会に出る経験は必要に感じた。社会に出てその後博士課程に戻ることや働きながら博士課程を修了できるシステムもあれば良いと思う。
- ・ 経済的な理由などで、博士課程に進むことのデメリットの方が大きいと考える学生が多いように思います。博士課程に進む人材を増やすことは研究力の底上げしより良い研究者や臨床薬剤師を育てるために必要なことです。経済的な支援の充実、博士課程進学者の就職活動支援、さらにはメンタル面でのサポートを強化することが今後の課題ではないかと考えます。
- ・ 薬学科6年の課程を終えた後に親の援助を受けて進学するのは経済的な負担の面から気が引けた。薬学科で研究をしていた頃からアルバイトをする時間的余裕は無かった。研究自体は楽しかったが、研究にかかる学生の拘束時間が長すぎるので、常識の範囲内の拘束時間で研究ができる環境があるなら進学も考えたと思う。

## 薬・病院・薬局向け・出口アンケート

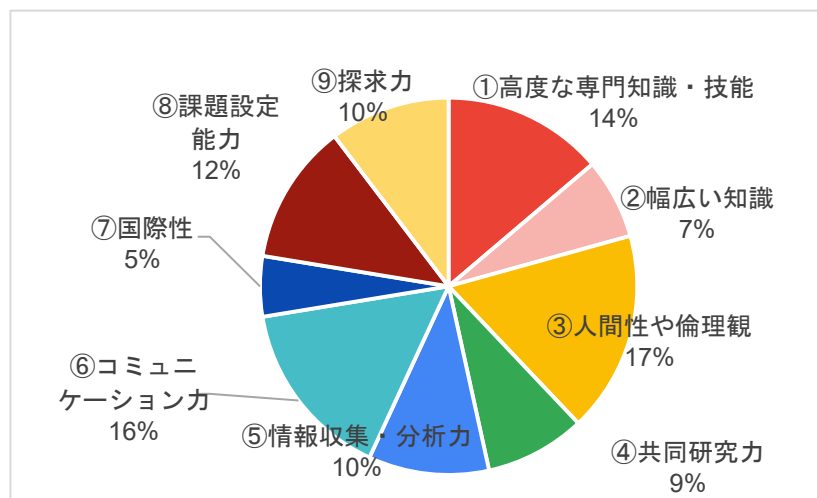
(アンケート対象38社 回答15社 回答率39%※施設名省略)

1 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。

はい	0
いいえ	14
わからない	1

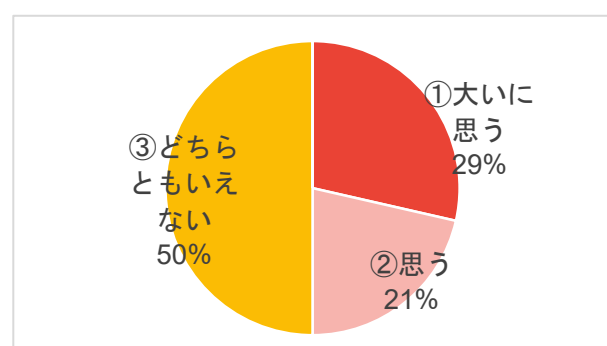
2 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。(複数回答可)

①高度な専門知識・技能	8
②幅広い知識	4
③人間性や倫理観	10
④共同研究力	5
⑤情報収集・分析力	6
⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力	9
⑦国際性	3
⑧長期的・短期的な課題設定能力	7
⑨課題への探求力	6



3 2で回答した力を身につけた人材が貴施設で必要だと思えますか。

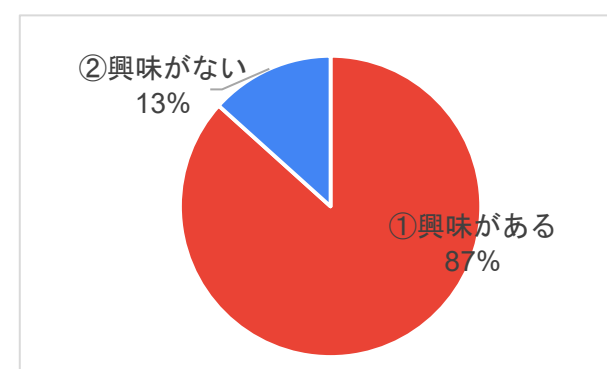
①大いに思う	8
②思う	6
③どちらともいえない	14
④あまり思わない	0
⑤まったく思わない	0



4 貴施設での採用に当たり、下記教育課程の修了者に興味がありますか？

<b>・薬学学位プログラム</b>
薬学・薬物治療学および関連する生命科学分野の基礎研究・臨床研究を先導する知のプロフェッショナルとしての薬学研究者・大学教員・高度先導的薬剤師・高度専門職業人の養成を目指す学位プログラム

①興味がある	13
②興味がない	2



5 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。もし貴施設で大学院生を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。

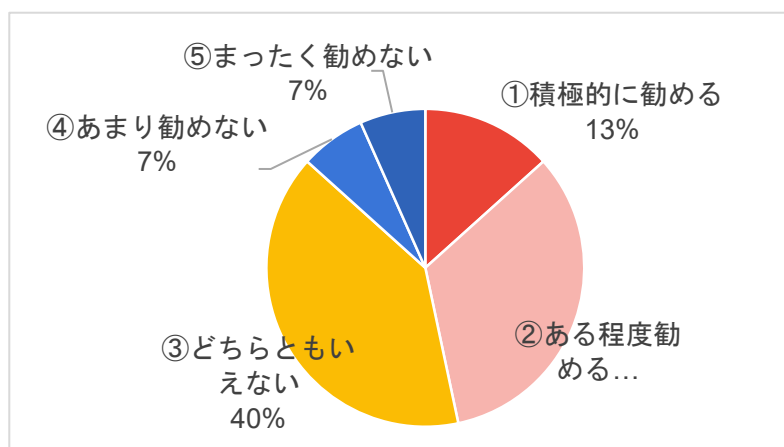
①数日～数週間程度	1
②1か月程度	3
③3～6か月程度	0
④1年程度	1
⑤2年以内	1
⑥受入不可	9

6 5で①～⑤を選択された場合、希望学生のマッチング方法や授業実施方法の詳細について改めて  
 打ち合わせをお願いできれば幸甚に存じます。打ち合わせをご担当いただける部署名やご担当者名をご教示ください。

回答省略	4
実務をしていない大学院生に研究課題を模索させるイメージが今はできません。	1

7 本研究科では、企業等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の一部を、平日の夕刻や土曜日に授業を実施しています。貴施設で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

①積極的に勧める	2
②ある程度勧める	5
③どちらともいえない	6
④あまり勧めない	1
⑤まったく勧めない	1

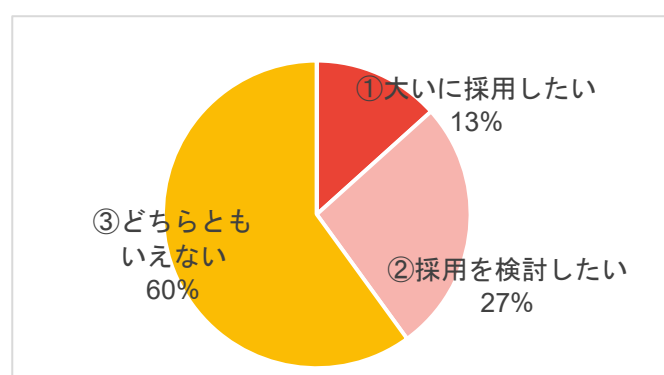


8 7でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

- ・ 職員の判断によるものであるため
- ・ 本人の希望であるため、それに沿いたい
- ・ 本人の学びたい希望を最大限尊重したいと考えます。
- ・ 職員の学びたいという希望に対し、就労先がその是非を判断するものではないため。
- ・ 仕事と両立は難しいと思うが学ぶ機会があるのはいいことであるから
- ・ 日常業務への影響が懸念される
- ・ 病院薬剤師も必要と考えるため
- ・ 距離が離れすぎており無理がある
- ・ 愛媛県からでは、オンライン授業でないで在職のまま入学することはできない。
- ・ 博士課程での経験は、その後の進路を広げるため。
- ・ 専門性を活かせる職場作りを目指す為
- ・ 本当に本人の強い意志があれば、貴大学院で学ぶことは問題ないと思います。しかし、現実問題として当院薬剤部の業務と社会人大学院生として貴学で学ぶこととのバランスが難しい面が多いと思います。実際、当院薬剤部にも社会人大学院生がいますが、当院の医学研究科に入学することが多いです。

9 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

①大いに採用したい	2
②採用を検討したい	4
③どちらともいえない	9
④あまり採用したくない	0
⑤まったく採用したくない	0

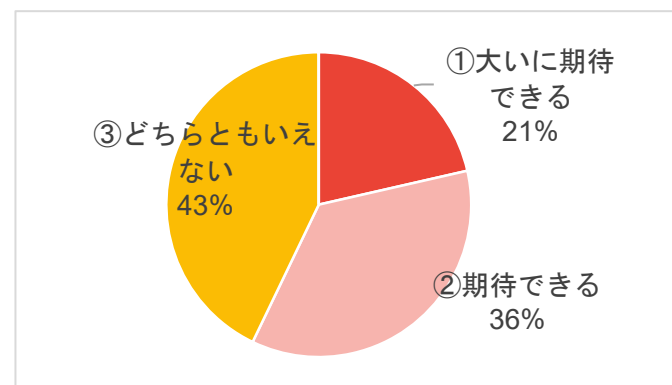


10 9でそのようにご回答された理由をお答えください。（自由記述）

- ・ 博士課程を要件にした募集は行っていない（行う予定もない）
- ・ 臨床だけでなく、そこから生じる疑問に対して研究活動も進めてほしいから
- ・ 良い人材があればぜひ検討したい
- ・ 学歴は一要素であり最終的には人物評価となる
- ・ 当薬剤部員の意見を重視するため、現時点では、どちらともいえない。
- ・ 長期的な課題設定能力を持ち、先導できる薬剤師であれば採用したい。
- ・ 採用試験や面接試験での内容で判断する
- ・ 当院は慢性期疾患が多いので。
- ・ 大学卒業生より優秀な人材が期待できる
- ・ 多様な人材で組織を構成したいため
- ・ 専門分野に依る
- ・ 身分・実力にあうポストがあれば、積極的に採用したい。ただし、現実問題として、能力に見合うポストを用意できる可能性は低いので、どちらともいえない。
- ・ 当院薬剤部は原則、新卒者をすぐに職員として採用することは無く、多くはレジデント生として採用することが多いため。

11 すでに採用済みの貴施設の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

①大いに期待できる	3
②期待できる	5
③どちらともいえない	6
④あまり期待できない	0
⑤まったく期待できない	0



12 11でそのようにご回答された理由をお答えください。（自由記述）

- ・ 当施設は研究にも力を入れているため
- ・ 未知数なので。現時点では判断できないため
- ・ 探求心をもつ人材と思われるから
- ・ 入学しただけでは判断できない
- ・ 当院だけの経験では、偏った考えになる危険性があるため
- ・ 本人の努力次第
- ・ 現状では人材育成には限界があるため、入学することにより優秀な人材が育成できそうだから
- ・ 博士課程では、論理力・思考力向上が期待できます。
- ・ 向上心があり、将来活躍を期待できる為。
- ・ 病院業務の中で発生するクリニカルクエストを、リサーチクエストに変換する能力が培われれば、より能力の向上を期待できると考えますためです。
- ・ 職場と異なる視点で業務を考え直す良い機会となるため。異なる視点、知見を持つ人々の考えを吸収する良い機会となるため。



## 薬・企業向け・出口アンケート

(アンケート対象34社 回答8社 回答率24%※企業名省略)

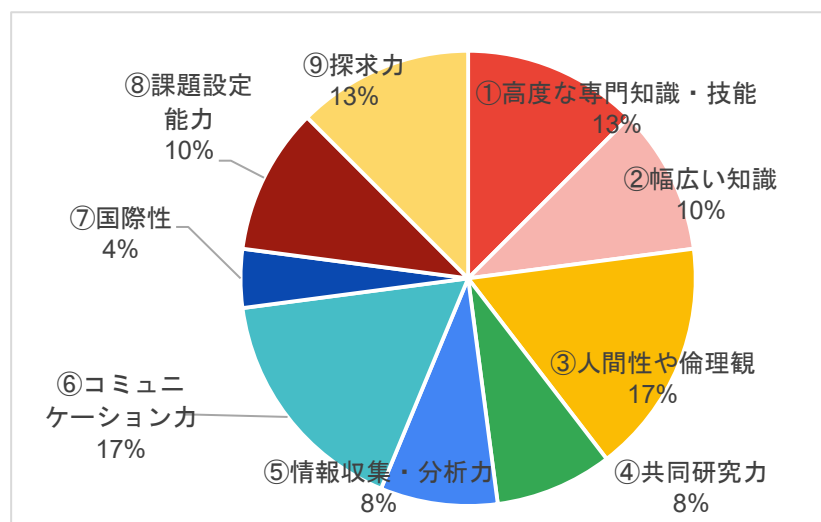
(1) 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。

はい	2
いいえ	6
わからない	0

(2) 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。

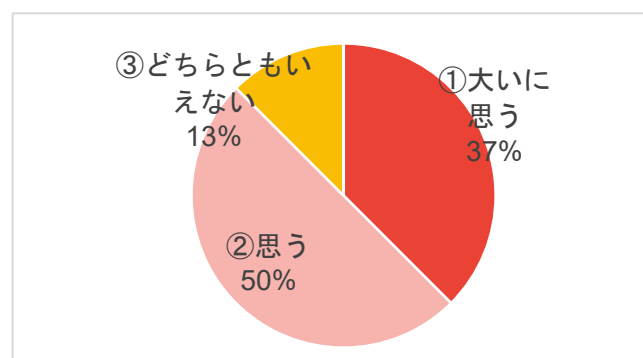
(複数回答可)

①高度な専門知識・技能	6
②幅広い知識	5
③人間性や倫理観	8
④共同研究力	4
⑤情報収集・分析力	4
⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力	8
⑦国際性	2
⑧長期的・短期的な課題設定能力	5
⑨課題への探求力	6



(3) (2) で回答した力を身につけた人材が御社では必要だと思えますか。

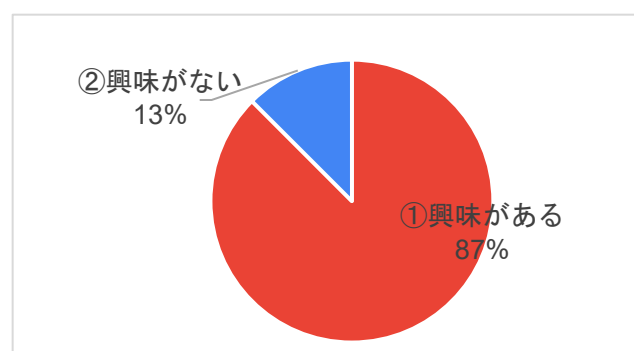
①大いに思う	3
②思う	4
③どちらともいえない	1
④あまり思わない	0
⑤まったく思わない	0



(4) 御社での採用に当たり、下記教育課程の修了者に興味がありますか？

**・薬学学位プログラム**  
薬学・薬物治療学および関連する生命科学分野の基礎研究・臨床研究を先導する知のプロフェッショナルとしての薬学研究者・大学教員・高度先導的薬剤師・高度専門職業人の養成を目指す学位プログラム

①興味がある	7
②興味がない	1



(5) 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。もし御社で大学院生を受入していただける場合、どのくらいの期間でしたら受入可能でしょうか。

①数日～数週間程度	2
②1か月程度	0
③3～6か月程度	1
④1年程度	0
⑤2年以内	0
⑥受入不可	5

6 5で①～⑤を選択された場合、希望学生のマッチング方法や授業実施方法の詳細について改めて打ち合わせをお願いできれば幸いです。打ち合わせをご担当いただける部署名やご担当者名をご教示ください。

回答省略

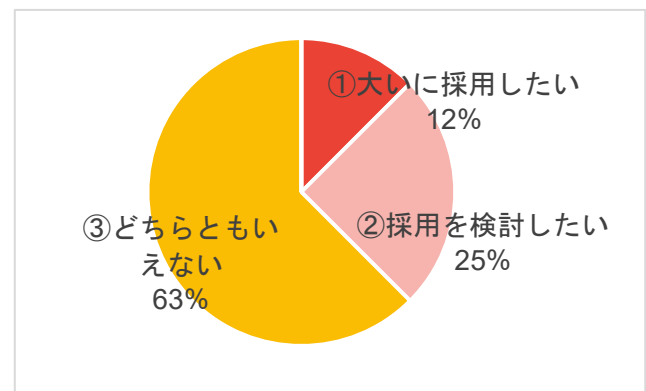
- 7 本研究科では、企業等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の一部を、平日の夕刻や土曜日に授業を実施しています。御社で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

①積極的に勧める	0
②ある程度勧める	1
③どちらともいえない	7
④あまり勧めない	0
⑤まったく勧めない	0

- 8 7でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)
- ・なるべく業務に集中してもらいたいため
  - ・大学院入学にあたっては、新たに社内制度などの調整が必要となるため。
  - ・学位取得後、大学教員に転職した前例があるから
  - ・社内に社会人大学院への進学も推している。志望者から社内で検討して対応いたします。
  - ・現時点において、希望者が利用できる社員規定制度が整っていないため

- 9 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

①大いに採用したい	1
②採用を検討したい	2
③どちらともいえない	5
④あまり採用したくない	0
⑤まったく採用したくない	0

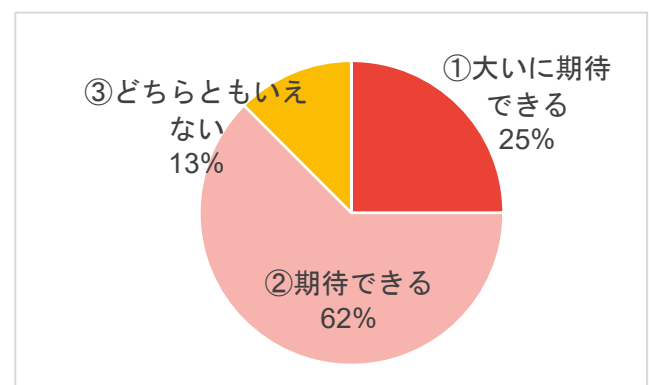


- 10 9でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

- ・大学院生の採用実績が少ないため
- ・薬剤師免許取得者であれば採用可能。
- ・多様な価値観を持った方を採用したい為。
- ・幅広い知識と探究力を持った人材がいると思われるため
- ・現状では社内で、博士号取得者を最大限に活躍してもらえる場を用意することが困難なため
- ・現時点では貴研究科博士課程修了者の具体的なイメージを持つことが難しく、社内でどのような活躍を求めるかが明確ではないため。また、該当者を採用した場合の給与形態の設定が存在しないため。
- ・優秀な博士学生を求めているから
- ・調剤薬局での可能性が可視化できれば検討できると思います。

- 11 すでに採用済みの御社の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

①大いに期待できる	2
②期待できる	5
③どちらともいえない	1
④あまり期待できない	0
⑤まったく期待できない	0



- 12 11でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

- ・大学院生の採用実績が少ないため
- ・高度医療、薬学に関する知識、スキル向上が期待できる
- ・博士課程を通じて身に着けた様々な知識、経験が業務に役立つと期待されるから
- ・学びの場を提供していきたい為。
- ・研究課題にもよりますが、業務を研究することで新たな視点が広がると思われるため
- ・学専門性の向上が必要なため。自分自身も進学に興味があるから。
- ・弊社での活躍イメージは定まっておりませんが、多様性や柔軟性、臨床的課題を自ら解決できる力は、これからの薬局薬剤師に求められる能力と考えているため。
- ・調剤薬局でも必要な研究や課題があれば積極的に実施したいが現状、在職の薬剤師も資格取得補助等規定を新規で作ったが取得するものはいない現状です。いろいろ可視化され調剤薬局でも可能な道筋が見えればいろいろ多様性はあると思います。

令和3年12月

薬学関係学生 各位

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）薬学系に関するアンケートへのご協力をお願い

大学院医歯薬学総合研究科では、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年度予定）を検討しています。この改組は、すべての人の健康と福祉に貢献する薬学・生命科学研究、Society 5.0 でのがん医療や地域医療など、世界共通の課題に気づき解決していく実践からの学びを重視する新しい教育プログラムを特色とし、一人ひとりの大学院生が自らの将来像を想定し、主体的に学ぶ大学院4年制博士課程の構築を目指すものです。そこで、薬学科に在籍あるいは卒業された皆さんにアンケートを実施し、改組と教育プログラム改善のために使用する資料といたく考えています。この目的以外には使用いたしません。回答は個人が特定されない形で集計されます。

選択で回答するものは該当する番号を選択し、記入して回答するものは具体的にご記入ください。  
（回答所要時間 約5分）

つきましては、以下URL，またはQRコードよりアンケートにアクセスいただき 12月27日（月）までにご回答いただけますと幸甚に存じます。もしご不明な点などがございましたら、下記問い合わせ先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

URL : <https://forms.gle/tab6vT2PHuYctxCx6> QRコード :

問い合わせ先： 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室 教務学生担当  
〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1  
☎ 086-251-7923（直通）  
E-mail: [ngg7923@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:ngg7923@adm.okayama-u.ac.jp)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
薬学系長 三好伸一

【薬学部薬学科生・既卒生対象】

医歯薬学総合研究科（博士課程）に関するアンケート（進路アンケートも含む） Ver. 1

大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 伊達 勲

大学院医歯薬学総合研究科 薬学系長 三好 伸一

大学院医歯薬学総合研究科では、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年度予定）を検討しています（説明資料添付）。この改組は、すべての人の健康と福祉に貢献する薬学・生命科学研究、Society 5.0 でのがん医療や地域医療など、世界共通の課題に気づき解決していく実践からの学びを重視する新しい教育プログラムを特色とし、一人ひとりの大学院生が自らの将来像を想定し、主体的に学ぶ大学院4年制博士課程の構築を目指すものです。そこで、薬学科に在籍あるいは卒業された皆さんにアンケートを実施し、改組と教育プログラム改善のために使用する資料といたく考えています。この目的以外には使用いたしません。回答は個人が特定されない形で集計されます。

選択で回答するものは該当する番号を選択し、記入して回答するものは具体的にご記入ください。

（回答所要時間 約5分）

1 現在学されている方のうち現時点で想定している将来の職種を教えてください。（複数回答可）

※卒業生で就職されている方は職種を教えてください。

- 1) 薬剤師（病院勤務）
- 2) 薬剤師（調剤薬局勤務）
- 3) 薬剤師（ドラッグストア勤務）
- 4) 製薬企業（研究職）
- 5) 製薬企業（開発職、CRO も含む）
- 6) 製薬企業（その他の職種）
- 7) 大学教員
- 8) 公的研究機関の研究者
- 9) 公務員
- 10) その他（職種は… ）

2 学年を教えてください。

※博士課程に進学後、やむなく退学された方は修了生の区分でお答えください。

- 学年： ・薬学科1年生 ・薬学科2年生 ・薬学科3年生  
・薬学科4年生 ・薬学科5年生 ・薬学科6年生  
・（岡大・薬学系博士課程に進学しなかった）薬学科卒業生  
・岡大・薬学系博士課程1年生 ・岡大・薬学系博士課程2年生  
・岡大・薬学系博士課程3年生 ・岡大・薬学系博士課程4年生  
・岡大・薬学系博士課程修了生



【薬学部薬学科生・既卒生対象】

4-3 今後どうであれば岡大・薬学系博士課程でよりよい研究活動ができると思いますか？（自由記述）

4-4 どうであれば岡大・薬学系博士課程へ進学を決めていましたか？（自由記述）

設問は、以上です。ご協力、ありがとうございました。

令和3年12月

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）薬学系に関するアンケートへのご協力をお願い

拝啓

冬色の候、貴施設におかれましては、COVID-19 禍ご多忙の中にも益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保障する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年4月予定）を検討しています。

このアンケートでは、薬学学位プログラムについて、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。お手数をおかけし大変恐縮ですが、添付資料をご覧いただいた上で、回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートは上記の目的にのみ使用し、個人情報収集いたしませんこと、念のため申し添えます。また、貴施設名のご回答をお願いしておりますが、貴施設名を公表することはございません。アンケート項目には、自由記述、単一回答、複数回答がございます。注意しながらご回答ください。

つきましては、不躰なお願いで申し訳ございませんが、同封の「大学院医歯薬学総合研究科4年制博士課程社会ニーズ調査」をご参考のうえ、以下URL、またはQRコードよりアンケートにアクセスいただき 12月27日（月）までにご回答いただけますと幸甚に存じます。もしご不明な点などがございましたら、下記問い合わせ先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

URL : <https://forms.gle/pUDMPaZroRWPJ9Gs6> QRコード :



問い合わせ先： 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室 教務学生担当  
〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1  
☎ 086-251-7923（直通）  
E-mail: [ngg7923@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:ngg7923@adm.okayama-u.ac.jp)

末筆となりましたが、貴施設の益々のご発展を祈念申し上げます。  
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
薬学系長 三好伸一

【薬学系・病院・調剤薬局対象】

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(博士課程)薬学系に関するアンケート

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保証する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組(仮称:医歯薬学専攻、2023年4月予定)を検討しています。

このアンケートでは、薬学学位プログラムについて、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。お手数をおかけし大変恐縮ですが、添付資料をご覧いただいた上で、回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートは上記の目的にのみ使用し、個人情報収集いたしませんことを申し添えます。また、貴施設名のご回答をお願いしておりますが、貴施設名を公表することはございません。

アンケート項目には、自由記述、単一回答、複数回答がございます。注意しながらご回答ください。

(全13問、回答所要時間 約10分)

- 
- 1 貴施設名をお答えください。(自由記述)
  
  - 2 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。  
①はい ②いいえ ③わからない
  
  - 3 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。(複数回答可)  
①高度な専門知識・技能 ②幅広い知識 ③人間性や倫理観 ④共同研究力  
⑤情報収集・分析力 ⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力 ⑦国際性  
⑧長期的・短期的な課題設定能力 ⑨課題への探究力 ⑩その他(具体的に… )
  
  - 4 3でお答えいただいた力を身につけた人材が、貴施設では必要だと思われますか?  
①大いに思う ②思う ③どちらともいえない ④あまり思わない ⑤まったく思わない
  
  - 5 貴施設での採用に当たり、下記教育課程の修了者に興味がありますか?  
・薬学学位プログラム(薬学・薬物治療学および関連する生命科学分野の基礎研究・臨床研究を先導する知のプロフェッショナルとしての薬学研究者・大学教員・高度先導的薬剤師・高度専門職業人の養成を目指す学位プログラム)  
①興味がある ②興味がない
  
  - 6 本研究科博士課程の改組を行った場合、地域の医療機関等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生を教育プログラムに応じて地域医療機関に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。  
もし貴施設で大学院生を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。  
①数日～数週間程度 ②1か月程度 ③3～6か月程度 ④1年程度 ⑤2年以内 ⑥受入不可



【薬学系・病院・調剤薬局対象】

7 6で①～⑤を選択された場合、希望学生のマッチング方法や授業実施方法の詳細について改めて打ち合わせをお願いできれば幸甚に存じます。

打ち合わせをご担当いただける部署名やご担当者名をご教示ください。

8 本研究科では、病院・調剤薬局等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の一部を、平日の夕刻や土曜日に授業を実施しています。

貴施設で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

- ①積極的に勧める ②ある程度勧める ③どちらともいえない ④あまり勧めない ⑤まったく勧めない

9 8でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

10 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

- ①大いに採用したい ②採用を検討したい ③どちらともいえない  
④あまり採用したくない ⑤まったく採用したくない

11 10でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

12 すでに採用済みの貴施設の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

- ①大いに期待できる ②期待できる ③どちらともいえない  
④あまり期待できない ⑤まったく期待できない

13 12でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和3年12月

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）薬学系に関するアンケートへのご協力をお願い

拝啓

冬色の候、御社におかれましては、COVID-19 禍ご多忙の中にも益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保障する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組（仮称：医歯薬学専攻、2023年4月予定）を検討しています。

このアンケートでは、薬学学位プログラムについて、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。お手数をおかけし大変恐縮ですが、添付資料をご覧いただいた上で、回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートは上記の目的にのみ使用し、個人情報収集いたしませんこと、念のため申し添えます。また、御社名のご回答をお願いしておりますが、御社名を公表することはございません。アンケート項目には、自由記述、単一回答、複数回答がございます。注意しながらご回答ください。

つきましては、不躰な願いで申し訳ございませんが、同封の「大学院医歯薬学総合研究科4年制博士課程社会ニーズ調査」をご参考のうえ、以下URL、またはQRコードよりアンケートにアクセスいただき 12月27日（月）までにご回答いただけますと幸甚に存じます。もしご不明な点などがございましたら、下記問い合わせ先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

URL : <https://forms.gle/2QanhF5zFZvF443w5> QRコード :



問い合わせ先： 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室 教務学生担当  
〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1  
☎ 086-251-7923（直通）  
E-mail: [ngg7923@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:ngg7923@adm.okayama-u.ac.jp)

末筆となりましたが、御社の益々のご発展を祈念申し上げます。  
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
薬学系長 三好伸一

【薬学系・企業対象】

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(博士課程)薬学系に関するアンケート

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科では、学修者主体の学びを保証する学位プログラムを実施するため、4年制博士課程の改組(仮称:医歯薬学専攻、2023年4月予定)を検討しています。

このアンケートでは、薬学学位プログラムについて、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。お手数をおかけし大変恐縮ですが、添付資料をご覧いただいた上で、回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートは上記の目的にのみ使用し、個人情報収集いたしませんことを申し添えます。また、御社名のご回答をお願いしておりますが、御社名を公表することはございません。

アンケート項目には、自由記述、単一回答、複数回答がございます。注意しながらご回答ください。

(全13問、回答所要時間 約10分)

- 
- 1 御社名をお答えください。(自由記述)
  - 2 過去3年以内に、本研究科博士課程の修了者を採用されましたか。  
①はい ②いいえ ③わからない
  - 3 本研究科博士課程の修了者に、どのような能力や知識を持った人材育成を期待されるか教えてください。(複数回答可)  
①高度な専門知識・技能 ②幅広い知識 ③人間性や倫理観 ④共同研究力  
⑤情報収集・分析力 ⑥チーム・ユニットの意見をまとめるコミュニケーション力 ⑦国際性  
⑧長期的・短期的な課題設定能力 ⑨課題への探究力 ⑩その他(具体的に… )
  - 4 3でお答えいただいた力を身につけた人材が、御社では必要だと思われませんか?  
①大いに思う ②思う ③どちらともいえない ④あまり思わない ⑤まったく思わない
  - 5 御社での採用に当たり、下記教育課程の修了者に興味がありますか?  
・薬学学位プログラム(薬学・薬物治療学および関連する生命科学分野の基礎研究・臨床研究を先導する知のプロフェッショナルとしての薬学研究者・大学教員・高度先導的薬剤師・高度専門職業人の養成を目指す学位プログラム)  
①興味がある ②興味がない
  - 6 本研究科博士課程の改組を行った場合、企業等との「共育共創」による課題解決型科目として、大学院生を教育プログラムに応じて企業等に派遣し、研究課題を探索させる授業科目を設定することを検討しています。もし御社で大学院生を受入していただける場合、どのぐらいの期間でしたら受入可能でしょうか。  
①数日～数週間程度 ②1カ月程度 ③3～6か月程度 ④1年程度 ⑤2年以内 ⑥受入不可

【薬学系・企業対象】

7 6で①～⑤を選択された場合、希望学生のマッチング方法や授業実施方法の詳細について改めて打ち合わせをお願いできれば幸甚に存じます。

打ち合わせをご担当いただける部署名やご担当者名をご教示ください。

8 本研究科では、企業等に在職のまま入学を希望する社会人のため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を活用し、大学院共通科目や専門科目の一部を、平日の夕刻や土曜日に授業を実施しています。御社で就労している職員が、改組後の本研究科博士課程で学びたいと希望した場合、どのような対応が考えられますか。

①積極的に勧める ②ある程度勧める ③どちらともいえない ④あまり勧めない ⑤まったく勧めない

9 8でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

10 本研究科博士課程を改組した場合に、その修了者を採用するご意向はございますか。

①大いに採用したい ②採用を検討したい ③どちらともいえない  
④あまり採用したくない ⑤まったく採用したくない

11 10でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

12 すでに採用済みの御社の職員が本研究科博士課程に入学した場合に、能力の向上に期待ができますか。

①大いに期待できる ②期待できる ③どちらともいえない  
④あまり期待できない ⑤まったく期待できない

13 12でそのようにご回答された理由をお答えください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。